

人をつなぐ街を創る

–世田谷区の実践事例–



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり 常務理事 小柴 直樹

プロフィール

小柴 直樹（こしば なおき）1961年東京都生まれ。
一般財団法人世田谷トラストまちづくり 常務理事。
1987年世田谷区入所・2023年世田谷区退職。（36年間勤務）
太子堂、大蔵、下北沢、明大前、下高井戸などの街づくりを担当。
著書『人をつなぐ街を創る』（花伝社）にて、
「誰も置き去りにしない街づくりの心得」を提唱、
自らの造語「行政参加」に力を入れた街づくりの普及活動中。
一級建築士・建築主事・宅地建物取引士。



人をつなぐ街を創る

I部 街づくり先進都市・世田谷

- 第1章 世田谷区という街づくりの舞台
- 第2章 世田谷区における街づくりの発端
- 第3章 世田谷区街づくり条例の歩み**
- 第4章 街づくりが抱える課題の解決

II部 事例から見る街づくりへの新たな試み

- 第5章 密集市街地の防災街づくり—太子堂2・3丁目地区
- 第6章 小田急線上部利用の街づくり—下北沢駅周辺地区**
- 第7章 京王線沿線の街づくり—明大前駅周辺地区・下高井戸駅周辺地区
- 第8章 都市計画道路沿道の街づくり
—補助216号線・補助52号線・放射23号線

III部 合意形成のために

- 第9章 住民参加の街づくりの歩みと未来
- 第10章 街づくりの推進に期待すること
- 第11章 信頼関係の構築と合意形成**
- 第12章 誰も置き去りにしない街づくりの心得



世田谷区街づくり条例の制定・改正

社会動向

- 1975 区長公選制実施
- 1980 地区計画制度創設
- 1992 都市マスターPLAN
- 1994 行政手続法施行
- 2000 地区計画素案申出
- 2002 都市計画提案

街づくり条例の動向

- 1982 街づくり条例制定
(地区計画策定手続き規定)
- 1995 街づくり条例改正
(地区街づくり計画届出規定)
- 2010 街づくり条例改正
(地区計画素案申出規定)
(区民街づくり協定創設)

世田谷区街づくり条例

第1章 総則

基本理念／区・住民・事業者の責務

第2章 街づくりに関する方針等の策定

都市整備方針等の策定（都市計画マスターplan）

地区街づくり計画の策定（原案の提案・策定手続）

地区計画等の案の作成（案の作成手続・素案の申出）

街づくり誘導指針の策定

第3章 街づくりの推進等

街づくり誘導地区／街づくり推進地区

第4章 良好な建築構想の誘導

建築構想の調整等

第5章 街づくりの支援

区民街づくり協定／街づくり活動の支援

世田谷区街づくり条例



世田谷の街づくり条例 ～快適な街に住み続けるために～

平成 30 年 3 月

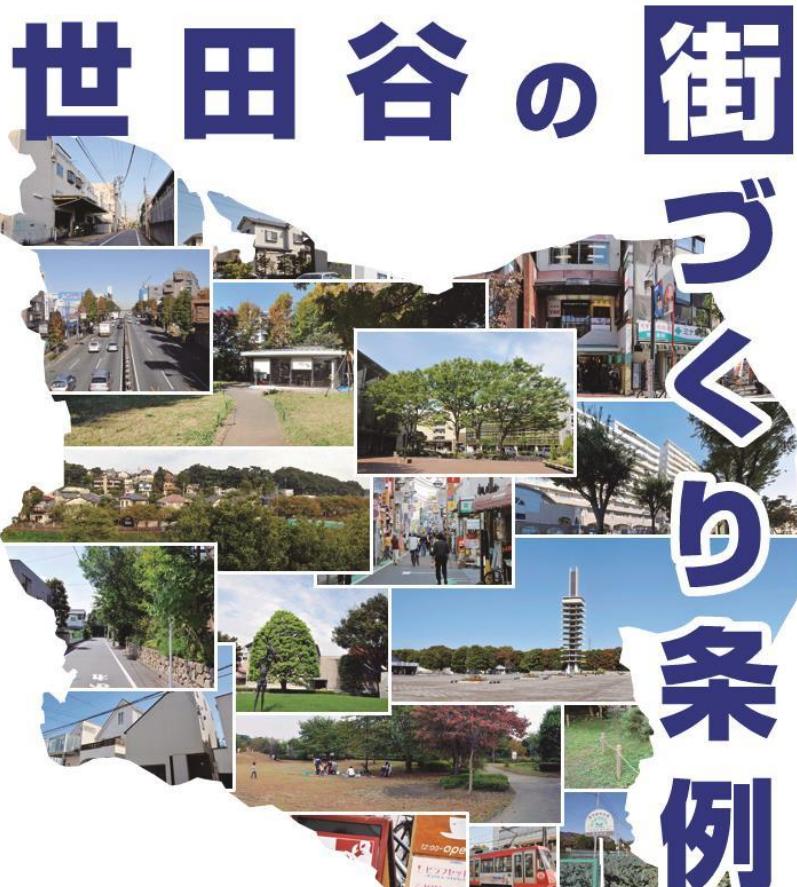
世田谷区都市整備政策部都市計画課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4 丁目 21 番 27 号

TEL 03-5432-2455

FAX 03-5432-3023

広報印刷物登録番号 No.1578



■快適な街に
住み続けるために■

世田谷区



世田谷区街づくり条例

第1章 世田谷区における街づくり

第2章「身近な街づくり」実践ガイド

【街づくり入門】

1 「身近な街づくり」の手順

身近な街づくりの方法は、様々です。目標に合わせて方針を定め、適した制度を活用することが大切です。

世田谷区街づくり条例により
定めていること

START!

街づくりの目標

樹木や生垣を大切にし、
**緑で潤う住宅街に
したい**

駐輪スペースを設け、
**安心して買い物が
楽しめる
商店街にしたい**

地震や火災に備えて
**防災上安全な街に
したい**

歴史ある
**良好な住宅街を
守りたい**

ルールづくりの方針

住民同士で
自主的に守り合う
ルールをつくろう

魅力ある安全・安心な街を
つくるために
地区で話し合って
しっかりした計画をつくろう

より法的な制限の
強いルールが必要だ

制度の活用

ご近所や地域の団体でつくる

区民街づくり協定

地区街づくり協議会で考える

地区街づくり計画

地区計画



成果のイメージ

季節によって
新緑・紅葉が楽しめる
住宅街になった

利用者の意識も高まり
放置自転車が減り、
ベビーカーでも
安心して買い物できる
商店街になった

公園・広場や
道路が整備され、
避難しやすい
街になった

土地の細分化や建物の
高さが法的に制限され、
良好な街並みに対する
住民の意識も高まった

小田急線 上部利用の街づくり

下北沢駅周辺地区の街づくりの変遷

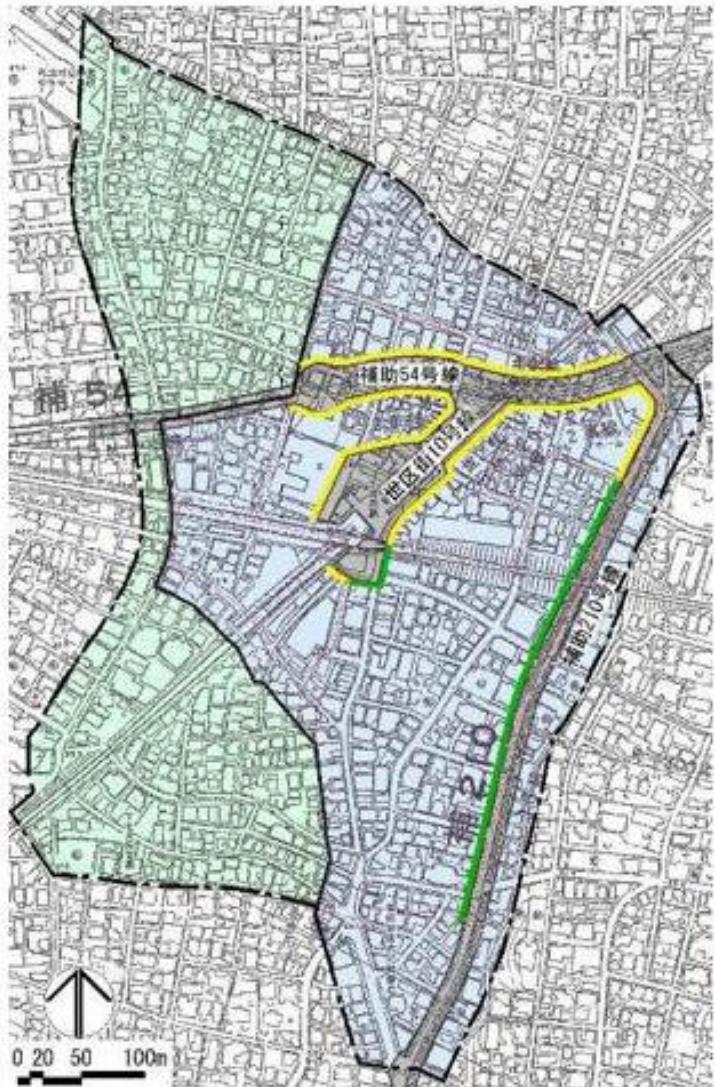
- 1946 都市計画道路補助線街路第54号線 計画決定
- 1964 都市高速鉄道第9号線（小田急線） 計画決定
- 2003 小田急線構造形式（地下化） 変更決定
世田谷区画街路第10号線（駅前広場） 計画決定
- 2006 下北沢駅周辺地区地区計画 決定
小田急線連続立体交差事業・駅前広場 事業認可
- 2014 世田谷区小田急線 上部利用計画 策定
北沢デザイン会議 開始（現在10回）
- 2015 北沢デザインガイド 発行
- 2016 北沢PR戦略会議 開始
- 2019 小田急線連続立体交差事業 完了

小田急線連続立体交差事業



下北沢駅周辺地区 道路計画

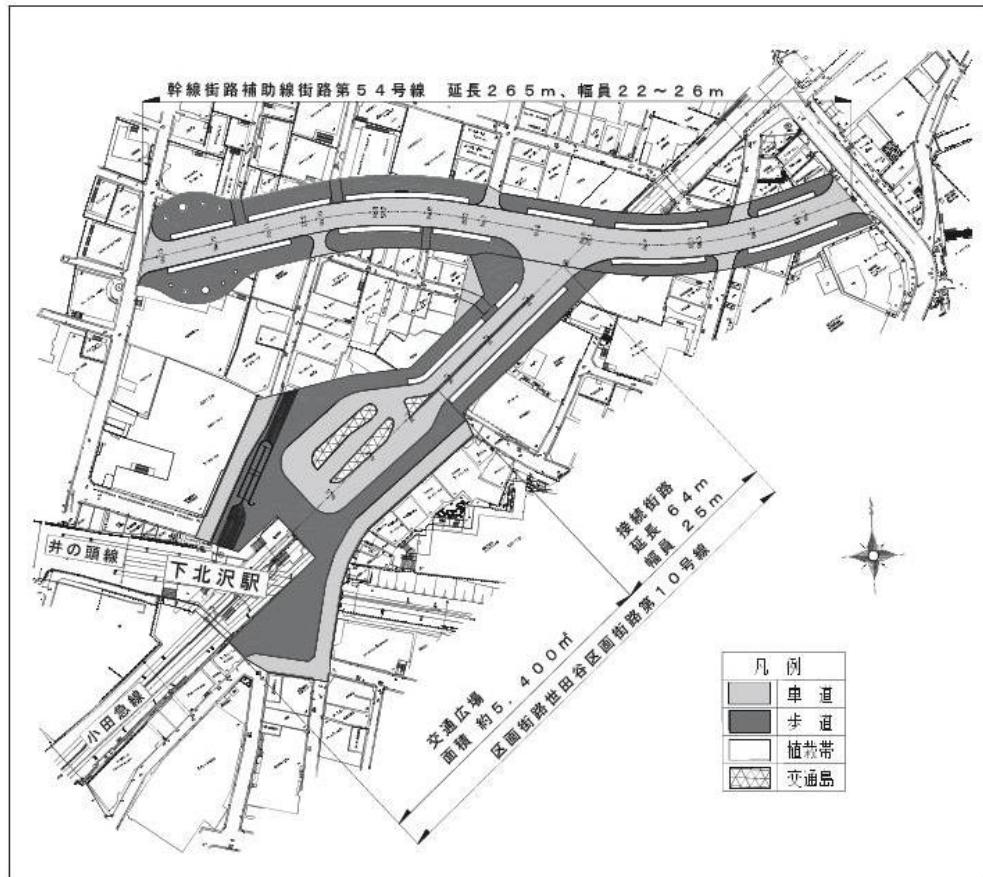
補助線街路第54号線・世田谷区画街路第10号線（駅前広場）



(1) 都市計画道路事業の認可

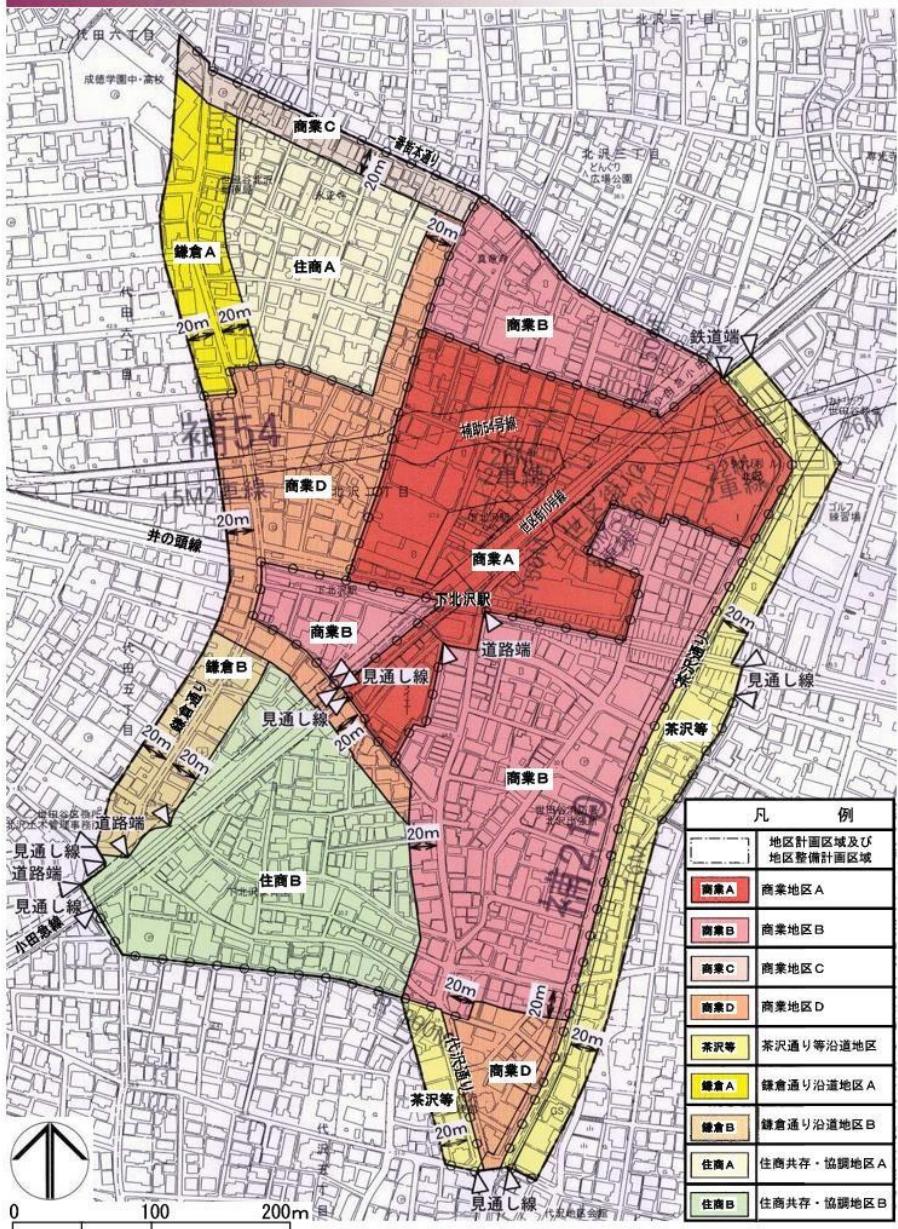
- 事業の名称：幹線街路補助線街路第54号線及び区画街路世田谷区画街路第10号線
- 事業認可日：(当初)平成18年10月18日 東京都告示第1437号
(変更)平成27年3月17日 東京都告示第419号
- 事業施工期間：平成18年10月18日から平成34年3月31日まで

(2) 事業平面図

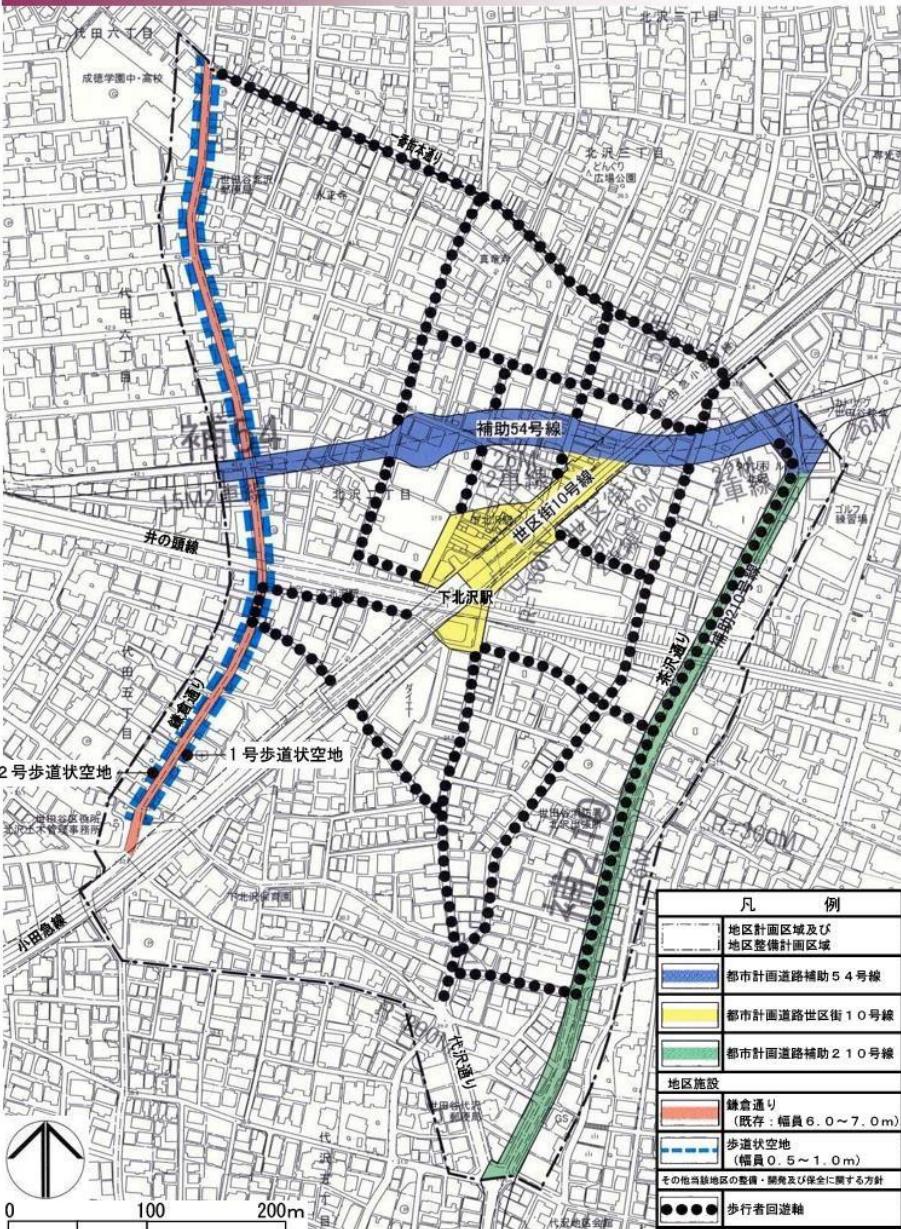


下北沢駅周辺地区地区計画

《計画図 1》 -地区区分-



《計画図 2》 -地区施設・歩行者回遊軸等-



下北沢駅周辺地区地区計画

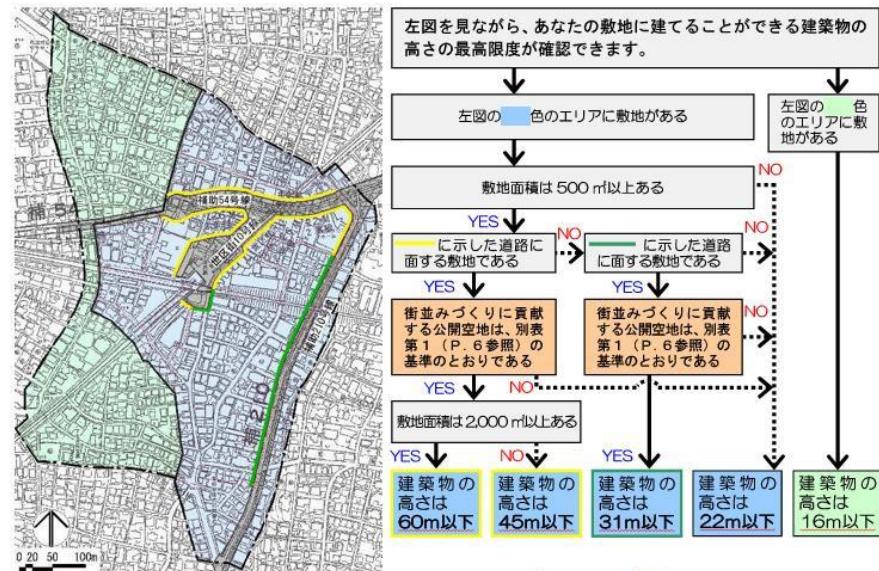
建築物等に関する事項

*ここに掲載する内容は、計画書を抜粋、要約したものです。

地区の区分		建築物等の用途の制限 (建築してはならない建築物を示す)	建築物の容積率の最高限度	建築物の敷地面積の最低限度	建築物等の高さの最高限度
名称	面積				
商業地区A	約4.8ha	<p>(1) 補助 54 号線、世区街 10 号線又は、計画図2(P.9参照)に表示する歩行者回遊軸(以下「道路等」という。)に面する建築物で、面する部分を住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿及びこれらに付属する自動車車庫の用途に供するもの(以下「住宅等」という。)。ただし、次に定めるものはこの限りでない。</p> <p>① 2階以上の階及び地階でその天井が地盤面下にあるもの</p> <p>② 住宅等の出入り口</p> <p>③ 路地状部分のみによって道路等に接する敷地(路地状敷地)で、道路等の境界線からの距離が、路地状部分の最小幅の2倍以上の位置に建築物の外壁又はこれに代わる柱等を有するもの</p>	P.11 QA3	P.12 QA5・6	P.12 QA7
	約7.0ha	<p>(2) 法別表第二(ハ)項第五号の倉庫業を営む倉庫</p> <p>(3) 個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類する法施行令第130条の9の2で定めるもの</p>			
商業地区B	約0.6ha	<p>(1) 補助 54 号線、世区街 10 号線又は、計画図2(P.9参照)に表示する歩行者回遊軸(以下「道路等」という。)に面する建築物で、面する部分を住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿及びこれらに付属する自動車車庫の用途に供するもの(以下「住宅等」という。)。ただし、次に定めるものはこの限りでない。</p> <p>① 2階以上の階及び地階でその天井が地盤面下にあるもの</p> <p>② 住宅等の出入り口</p> <p>③ 路地状部分のみによって道路等に接する敷地(路地状敷地)で、道路等の境界線からの距離が、路地状部分の最小幅の2倍以上の位置に建築物の外壁又はこれに代わる柱等を有するもの</p>			
	約3.1ha	<p>(2) 法別表第二(ハ)項第五号の倉庫業を営む倉庫</p> <p>(3) 個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類する法施行令第130条の9の2で定めるもの</p> <p>(4) 1住戸の専用面積が18㎡未満のものを有するもの</p> <p>(5) 法別表第二(イ)項第二号のマージャン屋、ばらんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外券券売場その他これらに類するもの</p> <p>(6) 法別表第二(ニ)項第四号のホテル又は旅館</p>			
商業地区C	約0.6ha	<p>(1) 補助 54 号線、世区街 10 号線又は、計画図2(P.9参照)に表示する歩行者回遊軸(以下「道路等」という。)に面する建築物で、面する部分を住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿及びこれらに付属する自動車車庫の用途に供するもの(以下「住宅等」という。)。ただし、次に定めるものはこの限りでない。</p> <p>① 2階以上の階及び地階でその天井が地盤面下にあるもの</p> <p>② 住宅等の出入り口</p> <p>③ 路地状部分のみによって道路等に接する敷地(路地状敷地)で、道路等の境界線からの距離が、路地状部分の最小幅の2倍以上の位置に建築物の外壁又はこれに代わる柱等を有するもの</p>			
	約3.1ha	<p>(2) 法別表第二(ハ)項第五号の倉庫業を営む倉庫</p> <p>(3) 個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類する法施行令第130条の9の2で定めるもの</p> <p>(4) 1住戸の専用面積が18㎡未満のものを有するもの</p> <p>(5) 法別表第二(イ)項第二号のマージャン屋、ばらんこ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外券券売場その他これらに類するもの</p> <p>(6) 法別表第二(ニ)項第四号のホテル又は旅館</p>			
商業地区D	約3.1ha				
	約3.1ha				

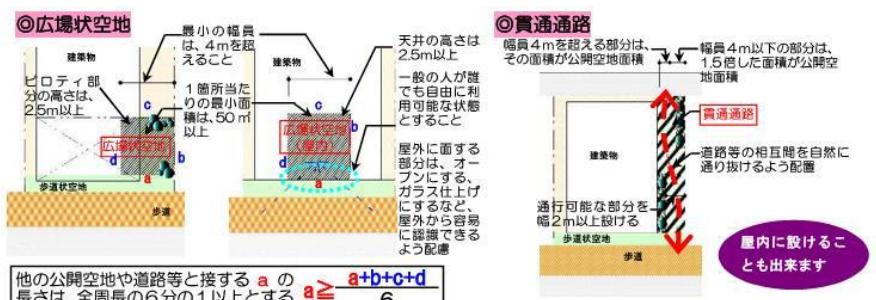
Q8 建築敷地に、どれくらいの高さの建物を建てることができるか教えてください。

A8 ◇下のフローに沿って進めると、高さの最高限度、敷地や建て方の条件が確認できます。



Q9 公開空地について教えてください。

A9 ◇3種類の公開空地を定めています。(公開空地の要件についてはP.6別表第1に示しています。)



小田急線上部利用計画



世田谷区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体交差事業および複々線化事業による鉄道地下化に伴い生じる線路跡地の利用（以下、「上部利用」という）について検討を進めています。

「小田急線上部利用通信」で上部利用に関する情報をお知らせしていきます。

【お問い合わせ先】
生活拠点整備担当部 拠点整備第一課
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
電話：03-5432-2624 FAX：03-5432-3107
ホームページアドレス（<http://www.city.setagaya.lg.jp/>）

平成25年11月
発行：世田谷区生活拠点整備担当部拠点整備第一課

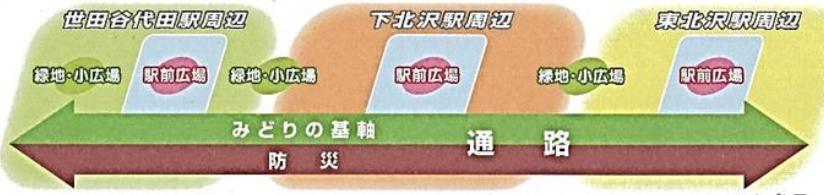
小田急線上部利用の施設配置（ゾーニング構想）がまとめました。

世田谷区では、平成23年2月にまとめた小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画（世田谷区案）について、同年3月11日の東日本大震災の発生を受け、地域防災等の視点から追加・修正を進めてきました。

東京都、小田急電鉄との協議・調整をふまえ、このほど、小田急線上部利用の施設配置（ゾーニング構想）がまとめましたので、お知らせします。

※本通信では、小田急電鉄の土地利用も含んだ「施設配置図」と「イメージ図」について掲載しています。

区の上部利用のコンセプト



『防災、みどりの基軸づくり』をコンセプトとして、防災・減災の機能を備え、地域のみどりの基軸となる人間優先の空間づくりを図ります。また、下北沢駅を中心とした、にぎわいのある安全で安心して移動できる快適な歩行者空間や、まちに新たな魅力を創出していくことを目指します。

※本通信掲載の写真やイラストは、整備イメージを表したものであり、実際とは異なります。

上部等に整備する施設

① 駅前広場

街の玄関となる駅前広場には、交通結節機能のほか、防災や環境にも配慮した生活拠点に相応しい機能を確保します。通路や駅舎等の鉄道施設との連続性に加え、周辺隣接地との関係なども十分に考慮して整備していきます。また、お祭りやイベント等に活用できるようにするとともに、災害時に備え、防火水槽等を設置します。

- ▶ 下北沢駅 面積約 7,200 m²
(内交通広場面積 約 5,400 m²)
- ▶ 東北沢駅 面積約 1,700 m²
- ▶ 世田谷代田駅 面積約 1,700 m²



交通結節機能を備えた駅前広場
防災機能を備えた駅前広場
にぎわいの機能を備えた駅前広場

② 通路

平常時には、歩行者・自転車等が利用する安全で快適な通路とします。災害発生時には緊急車両の通行が可能なものとし、防災活動に活用します。

整備にあたっては、道路との交差部では歩行者等が安全に横断できる対策を施し、通行の安全性を確保しつつ、積極的にみどりを配置して、住環境の保全・にぎわいの創出に努めます。

また、通路の連続性を生み出すために、環状七号線に歩行者および自転車専用の横断橋を整備します。

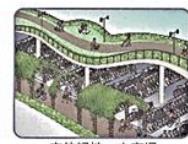


歩行者・自転車等が通行する通路
災害時に緊急車両が通行できる通路
上部の各施設をつなぐ通路
環状七号線横断橋

③ 緑地・小広場・立体緑地

上部利用の区域の周辺は建物が密集し、みどりが少ない地域になっています。そこで、通路に加え、上部利用の区域や上部利用の区域に接する場所に緑地や小広場を整備します。

整備にあたっては、区民参加で計画づくりを進めます。さらに、みどりの維持管理についても、行政だけでなく区民、NPO等とのパートナーシップによる取り組みを目指していきます。また、自転車等駐車場の上部を活用した立体的な緑地や小広場についても検討します。



憩いを与える施設

立体緑地・小広場

④ 自転車等駐車場

自転車等駐車場は、「世田谷区自転車等の利用に関する総合計画（平成23年4月）」に基づき検討するとともに、下北沢駅周辺では、小田急線の地下化等に伴い、更なる街の発展が見込まれることから、必要な駐輪台数の精査・再検証を進めます。

なお、小田急電鉄では、施設配置図に示す自転車等駐車場を整備します。



自転車等駐車場

整備状況

北沢タウンホールから新宿方面展望



整備状況

2023.7 現在 施設整備状況

つなぐデザイン
つながるまちづくり

資料の見方

(内側参照)

施設の主色に沿った色分けをしています。

● 世田谷区

● 小田急電鉄

● 京王電鉄

掲載情報 (令和5年3月時点)

施設の進捗状況を示した表記としています。

■ 実現 ■ 計画中



イメージパス
実現中

内閣	外閣	内閣	外閣
■	■	■	■
●	●	●	●
○	○	○	○
△	△	△	△
□	□	□	□
△○	△○	△○	△○
△□	△□	△□	△□
△○□	△○□	△○□	△○□

※今後変更する可能性があることをご了承ください。

令和5年3月 世田谷区



北沢デザイン会議

8/26 北沢デザイン会議

～小田急線沿線の街の未来を考える～

東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅の各駅周辺では、小田急小田原線の連続立体交差化により街が大きく変わろうとしています。

昨年3月に小田急小田原線の上記3駅の区間が地下化されるとともに、11月には上部利用の施設配置（ゾーニング構想）の計画がまとまりました。3駅の周辺では連続立体交差事業の完了を見据えて、街づくりの一層の推進が求められています。

これから区が線路跡地に整備する通路、緑地・小広場のあり方や、広く周辺の街づくりを考えるために、多くの方が描く街の未来を語り合う場をご用意しました。みなさんの思いをこれらの街づくりにつなげていきましょう。

プログラム（予定）

第1部 街づくりの経過と今後のスケジュール紹介

第2部 発表会

テーマ「これからの街づくりへの思い」

■発表者

市川 芙美子 氏 (東北沢自治会 会長)

柏 雅康 氏 (しまきた商店街振興組合 理事長)

斎田 佳子 氏 (世田谷代田 SAP 代表)

高橋 ユリカ 氏 (NPO グリーンライン下北沢 代表)

西山 友則 氏 (I LOVE 下北沢 カンパニー本部 下北沢事業部長)

松田 妙子 氏 (NPO せたがや子育てネット 代表理事)

◇コメンテーター 保坂 展人 (世田谷区長)

第3部 意見交換

■司会進行

鈴木 立也 氏 (街づくり専門家)

■ファシリテーター

奥村 玄 氏 (街づくり専門家)

北沢タウンホールご案内



ひととき保育をご希望の方

受付期間：7月25日(金)～8月18日(月)

受付先：せたがやコール

受付時間：8:00～21:00

電話：03-5432-3333

ファックス：03-5432-3100

要予約
人数制限
あり

入場無料

申込不要

先着
200名

手話通訳
あり

平成26年 8月26日(火)18時30分～21時00分 (開場18時00分)

北沢タウンホール（2階ホール）世田谷区北沢2-8-18

*会場のスペースの都合から、ご入場いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。

【主催】世田谷区

【問い合わせ先】北沢総合支所街づくり課 電話：03-5478-8031 ファックス：03-5478-8019

第10回 北沢デザイン会議

～小田急線沿線の街の未来を考える～



令和6年 3月2日(土) 13:00～15:00

会場：北沢タウンホール2階ホール（北沢2-8-18）

事前申込制

会場（先着100名）

オンライン（先着200名）

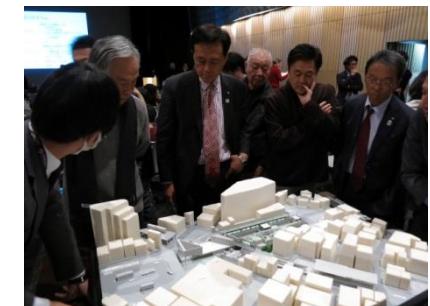
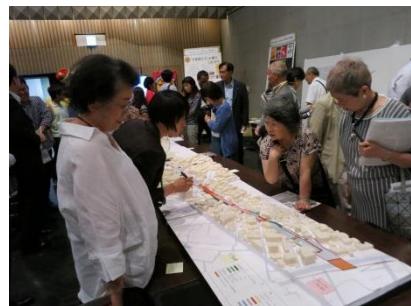
世田谷区では、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)の上部を利用し、駅前広場、通路、緑地・小広場、防災施設など、公共施設の整備を進めています。

「北沢デザイン会議」は、小田急線沿線の街の未来を考える場、どなたでも自由に参加できる情報共有や意見交換の場です。

これまでの街づくりの経過をご報告するとともに、今後の取り組みをご案内するため、「第10回北沢デザイン会議」を開催します。ぜひご参加ください。

北沢デザイン会議

情報提供・意見交換



北沢デザイン通信

北沢デザイン通信

北沢デザイン通信

第5号

平成31年(2019年)4月発行
世田谷区北沢総合支所街づくり課

小田急線上部利用施設に関する区の取り組み等についてご報告します

世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）沿線の街づくりの情報を幅広くお知らせしています。本号では、平成30年度に行った第5回、第6回の「北沢デザイン会議」と、区が整備する小田急線上部利用施設に関する取り組みなどの情報についてご報告します。

小田急線上部利用の取り組みの経緯

年度	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
計画		小田急線上部利用の施設配置（ゾーニング構想）公表	小田急線上部利用計画案（素案）公表	小田急線上部利用計画策定 ①			
整備		「代田富士見橋」	「代田富士356（みごろ）広場」	「北沢さんきゅう広場」	東北沢駅駅前広場整備中 通路整備（環状七号線以西）	世田谷代田駅駅前広場整備中 下北沢駅西側エリア整備中	
区民参加ワークショップ	世田谷代田駅駅前広場ワークショップ ③	東北沢駅駅前広場ワークショップ ④	下北沢駅周辺都市計画道路（補助54号線及び世比街10号線）整備ワークショップ	上部利用デザインワークショップ ⑤	「代田富士356（みごろ）広場」整備ワークショップ ⑥	「北沢さんきゅう広場」整備ワークショップ ⑦	下北沢駅西側エリア緑地・通路接討ワークショップ ⑧
北沢PR戦略会議			第1回北沢デザイン会議 第2回北沢デザイン会議	第3回北沢デザイン会議 北沢PR戦略会議 第1回報告会	第4回北沢デザイン会議 北沢PR戦略会議 第2回報告会	第5回北沢デザイン会議 第6回北沢デザイン会議 北沢PR戦略会議 第3回報告会 ⑨	

【関連発行物】

1 小田急線上部利用通信 No.11

2 北沢デザインガイド

3 世田谷代田駅周辺まちづくりニュース No.7

4 東北沢駅周辺まちづくりニュース No.4

5 下北沢駅周辺都市計画道路 WS ニュース第7号

6 (仮称) 代田3-5-6広場整備ニュース第4号

7 (仮称) 北沢3-9広場整備ニュース第4号

8 北沢デザイン信号外（平成28年3月）

9 北沢PR戦略会議かわら版第5号



経過報告及び今後の取り組み

世田谷代田駅から東北沢駅までの、上部利用施設の情報などを報告しました。



意見交換（ボードセッション）

当日は、上部利用施設の詳細をボードや模型などで紹介し、担当者が一人ひとりのご質問に答えました。



「北沢デザイン会議」とは
小田急線沿線の街づくりに関する
取り組みを報告しています。情報
共有、意見交換の場です。世田谷
区が開催しています。

北沢デザイン通信

» シモキタリングまちづくり会議(旧 北沢PR戦略会議) の活動について

名前が
変わり
ました

シモキタリングまちづくり会議とは

小田急線 上部に整備する各施設の活用や周辺部を含む「まちの魅力」を高める取り組みを検討し、実践する場として、平成28年から開催しており、現在8つの部会を中心に活動しています。

令和4年3月には、これまで5年間の活動を踏まえ、住民参加と地域住民の自主的な活動をより深化させ、地元の町会や商店街などと連携を深める趣旨で、「北沢PR戦略会議」から「シモキタリングまちづくり会議」へ名称を変更しました。



▲今後、リーフレットなどを通して、
名称変更や活動内容を
幅広くお知らせしていきます。

トピックス① 第5回 報告会が開かれました。

令和4年3月21日(月・祝)にシモキタリングまちづくり会議第5回報告会が開かれました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、小田急線跡跡地の屋外で開催され、パネルなどにより各部会の活動や名称変更について報告されました。



報告会の様子

トピックス② 下北沢まちの案内所を移設しました。



移設後の案内所の様子

令和4年6月に下北沢駅前の「下北沢まちの案内所」を、駅前広場の工事に伴い、しまきたスクエア内から小田急線東口改札前に移設しました。

引き続き、案内部会のメンバー、ボランティアの方々により小田急線 上部利用の街づくりの取り組みの周知や、まち案内を行っています。



移設工事の様子(クレーンで吊り上げました。)▶

» 区ホームページ・問い合わせ先

「02経退報告及び今後の取り組み」及び「03地域によるまちの活用の事例紹介」等の当回事務料及び、「05意見交換」の詳細は下の2次元コードからご覧いただけます。

世田谷区オフィシャルチャンネル
(YouTube)で、小田急線 上部利用施設の紹介動画をご覧いただけます。



問い合わせ先

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18
北沢タウンホール 11階

【本通信及び北沢デザイン会議について】
北沢総合支所街づくり課
TEL 03-5478-8031 FAX 03-5478-8019

【小田急線 上部利用施設等の整備について】
北沢総合支所拠点整備担当課
TEL 03-5478-8012 FAX 03-5478-8019

世田谷区のホームページでも
小田急線 上部利用の情報をお公開しています。

世田谷区 小田急線 上部利用の街づくり 検索

北沢デザイン通信

第8号

～思いつながる、人つながる、街つながる～

令和4年8月発行
世田谷区北沢総合支所街づくり課

小田急線
上部利用施設に
関する取り組み等
についてご報告
します。



シモキタ雨庭広場
開園式の様子

K I T A Z A W A d e s i g n



世田谷区では、北沢デザイン通信を通じて、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)沿線の街づくりの情報を幅広くお知らせしています。

本号では、令和4年3月に行われた第8回北沢デザイン会議でお知らせした小田急線 上部利用施設や京王井の頭線高架下利用施設に関する取り組み等のほか、加えて最新の情報をご報告します。

◀下北沢駅周辺から
世田谷代田駅方面を望む

北沢デザイン通信

「北沢デザインガイド」素案へのアンケート

■ アンケートの概要

項目	【1】素案全体について 【2】「デザインコード」について 【3】その他「上部利用区施設」のデザインについて
期間	平成27年8月11日～8月28日
方法	「北沢デザイン通信」号外（平成27年8月）刷込みハガキ
件数	69通（ハガキ：66 ファクシミリ：3）



■ アンケートによる主なご意見と「北沢デザインガイド」への反映内容等

【1】素案全体についてのご意見等

- ・抽象的で具体的なイメージが湧かない。
- ・概ね評価できる。
- ・防災の視点を入れてほしい。
- ・一般的過ぎて個性に乏しい。

▶ **【修正点】**
全般的にイラストや画像を見直し、具体的にイメージができるように改めました。

【2】「デザインコード」についてのご意見等

- ・抽象的で、意図が分かりにくい。
- ・概ね評価できる。
- ・完成予想図を示してほしい。
- ・多様な植栽を期待する。
- ・夜間も明るくしてほしい。
- ・デザインや機能を工夫してほしい。

▶ **【修正点】**
各デザインコードのイラストや画像を見直すとともに、「植栽」に樹木の参考リストを加えるなど、コードの趣旨が具体的に伝わるよう修正しました。また、具体的なデザインイメージを追加しました。

【3】その他「上部利用区施設」のデザインについてのご意見等

- ・下北沢の良さを反映してほしい。
- ・住民の意見を反映してほしい。
- ・安全や機能性に配慮してほしい。
- ・シンブルで洗練されたデザインにしてほしい。
- ・歩行者に配慮してほしい。

▶ 「防災、みどりの基軸づくり」であることを踏まえながら、地域の個性を生かし街の魅力を高める公共施設の整備を進めてまいります。
区施設の整備にあたっては、ワークショップの開催等、地域の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。

今後の進め方

今後は、「北沢デザインガイド」を指針として活用しながら、区施設の整備を進めてまいります。また、全体の進捗状況等については、情報共有と意見交換の場である「北沢デザイン会議」で報告していきます。次回の「北沢デザイン会議（第3回）」は、11月7日（土）に開催します。

お問い合わせ先

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 世田谷区役所第1庁舎4階
世田谷区都市整備部都市デザイン課
電話：03-5432-2054 フaxシミリ：03-5432-3023

北沢デザイン通信

号外
平成27年10月

平成27年10月発行
世田谷区都市整備部都市デザイン課

お知らせ 「北沢デザインガイド」が完成しました。

Total Design Guide Book



世田谷区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）の上部に区が整備する通路、広場等の公共施設のデザインに関する指針として、「北沢デザインガイド」の検討を進めてまいりました。

「北沢デザイン通信 号外（平成27年8月）」では、素案を公表するとともにアンケートを実施し、69件のご意見をお寄せいただきました。

このたび、いただいたご意見等を踏まえ素案の内容を修正し、「北沢デザインガイド」が完成いたしました。本号では、主なご意見と反映した内容等を報告します。

- ◇ 素案からの主な修正内容 02 03
- ◇ 「北沢デザインガイド」素案へのアンケート 04

「北沢デザインガイド」とは？

小田急線の上部空間の整備や周辺の街づくりにあたって、地域の個性を生かしながら、秩序のある連続した空間づくりに役立てるためのデザインの指針として活用します。

「上部利用デザインワークショップ」により導き出された「デザインコンセプト」の理念に基づき区施設の整備におけるデザインの方針や具体的な方策を示すとともに、周辺施設に対して区施設とのデザインイメージの調整をお願いする際の区の指針としても活用します。

「デザインコンセプト」 目指すべき将来像を表現した3つのコンセプトと6つの視点

コンセプト1 『四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ』 自然を感じる空間 入口の集い

コンセプト2 『街の記憶や風景を映し、3駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ』 街の記憶 街の風景

コンセプト3 『みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超えてつなぐ』 空間の変化 市民の関わり

「北沢デザインガイド」の全編、およびアンケートによる意見一覧は、区のホームページから閲覧できます。

トップページ ►► くらしのガイド ►► 住まい・街づくり・交通 ►► 都市デザイン ►► 「北沢デザインガイド」

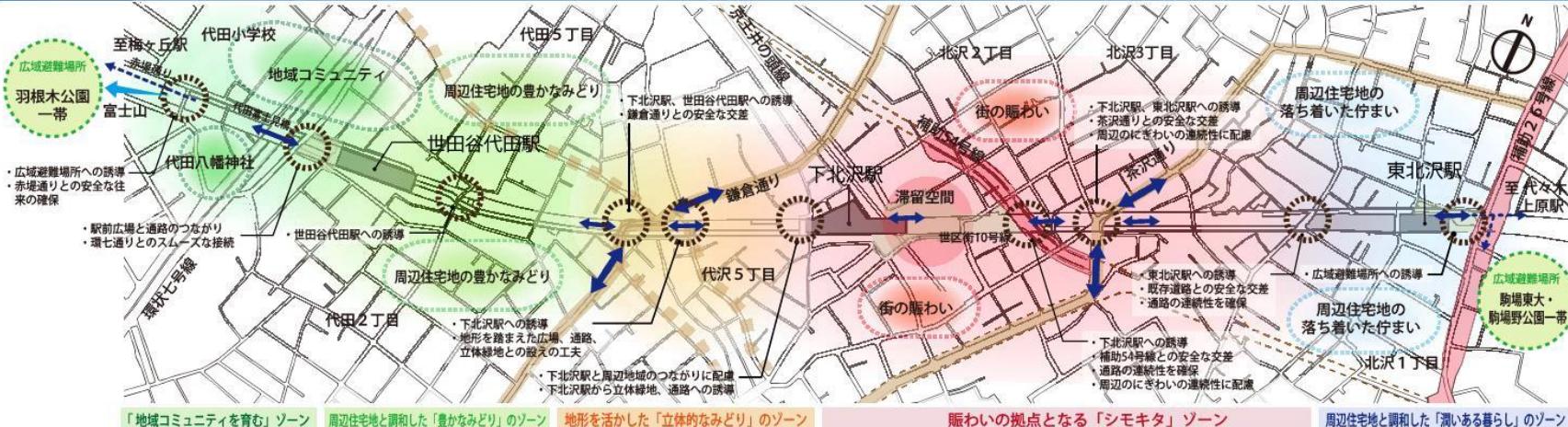
北沢デザイン通信

素案からの主な修正内容

ポイント① 上部利用区施設の整備にあたって 街の特徴を活かすための配慮事項について、ゾーンごとに具体的な配慮の内容を書き加えました。

ポイント② 区施設のデザインコードについて、イメージが膨らむよう、わかりやすいイラストや画像を掲載するとともに、説明を具体的な表現に改めました。

ポイント① 街の特徴を活かすための配慮事項



ポイント② 区施設のデザインコード

※デザインコードは、施設整備における配置、素材、形状、色彩などのデザインを方向づけるためのルールです。

「植栽」

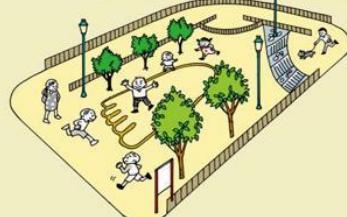
計画時の参考となるよう、植栽の参考リストを掲載しました。



①ソヨゴ（中高木）②サルスベリ（中高木）③ユキヤナギ（低木）④ティカカズラ（ツタ類）など

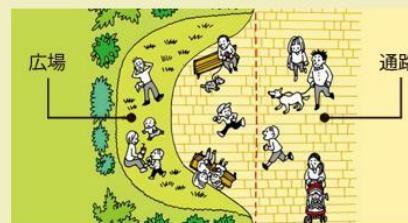
「地面」

地域の歴史や個性を組み込んだ広場の事例イメージを掲載しました。



「境界」

隣接する広場と通路を一体的に計画した事例イメージを掲載しました。



「照明」

設置場所や機能を踏まえた照明の事例イメージを掲載しました。



「ストリートファニチャー」

場所や機能に応じた事例写真を掲載しました。



「サイン・看板」

鉄道をモチーフにした事例写真を掲載しました。



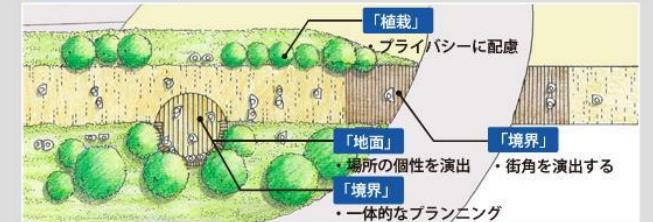
「工作物など」

線路の記憶を組み込んだ事例写真を掲載しました。



参考図

デザインコードを踏まえた具体的なイメージを掲載しました。



上部利用デザインワークショップ

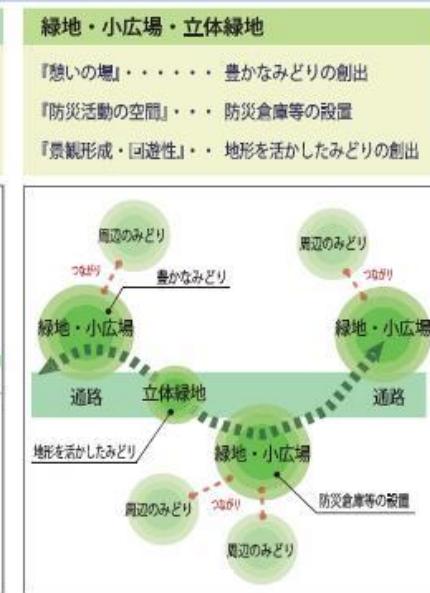
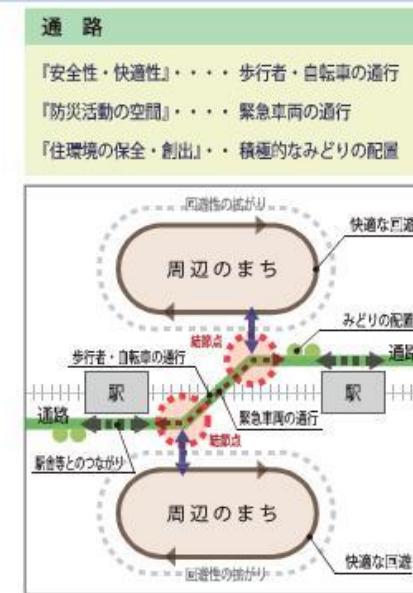
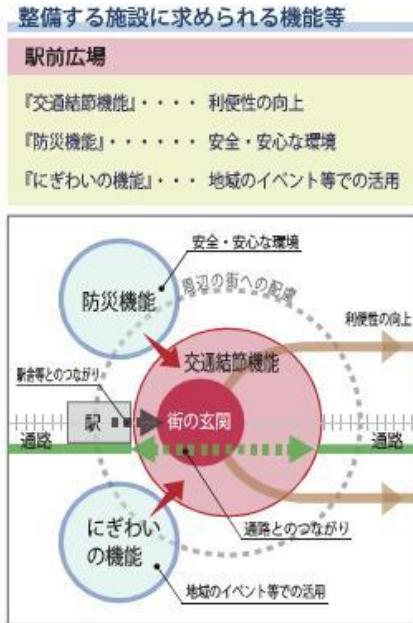
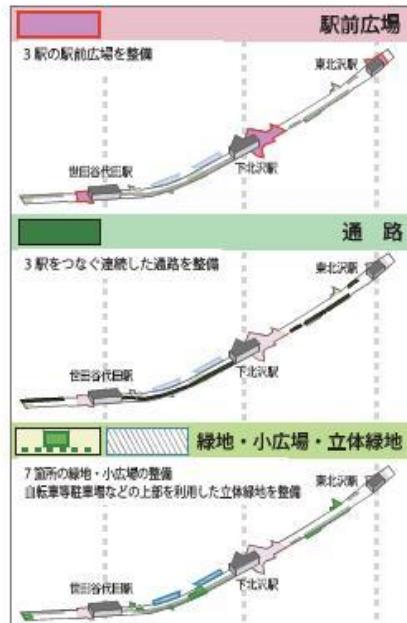
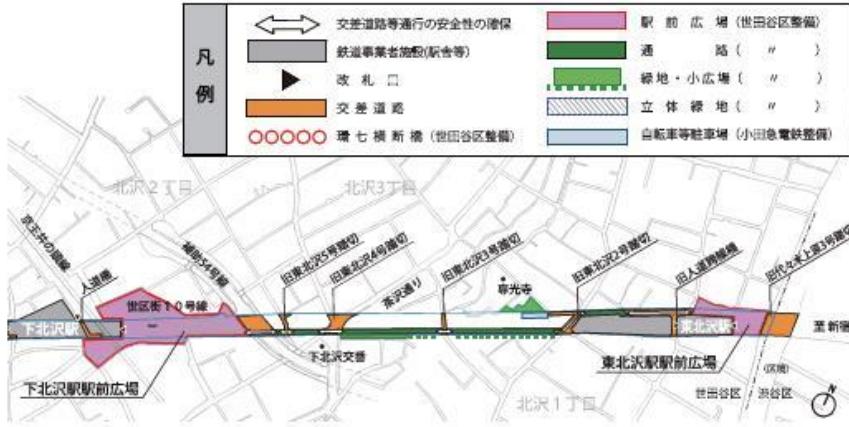
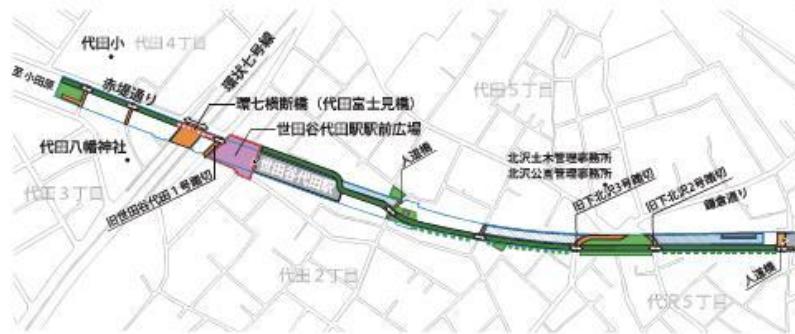


北沢デザインガイド

第1章 北沢デザインガイドについて

1-4 小田急線上部利用の施設配置

「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」は、小田急線の上部利用について、公共施設部分を整備していくための基本的な計画です。計画では、「駅前広場」、「通路」、「緑地・小広場」、「防災施設」等を新たに整備する公共施設として位置付けています。



北沢デザインガイド

Total Design Guide Book

Total Design Guide Book

第1章 北沢デザインガイドについて

1-5 北沢デザインガイドの全体構成

第1章 北沢デザインガイドについて

1-1 役割

- ・区施設の整備におけるデザインの方針や具体的な方策
- ・周辺施設に対して区施設とのデザインの調整をお願いする際の区の指針

1-2 位置付け

- ・「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」における区施設全体のデザインに関する指針として策定

1-3 対象と活用

- ① 対象
「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」に基づき各区域が整備する公共施設、現在施行中の都市計画道路補助54号線（下北沢1期）
- ② 活用
小田急線上部及び周辺地域の区民、事業者へ協力と調整のお願い

- ##### 1-4 小田急線上部利用の施設配置
- ・「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」に基づき施設等

1-5 全体構成

第2章 街の特徴

- ##### 2-1 特徴を活かすための配慮事項
- ・地域特性に基づき5つのゾーンに分けて街の特徴を整理

- ##### 2-2 公共空間のデザイン事例 『世田谷デザインコレクション』
- ・魅力あふれる公共空間の紹介

第3章 デザインコンセプトとデザイン方針

3-1 デザインコンセプト

コンセプト 1

自然を感じる空間
人々の集い
『四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ』

コンセプト 2

街の記憶
街の風景
『街の記憶や風景を映し、3駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ』

コンセプト 3

空間の変化
市民の関わり
『みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超えてつなぐ』

3-2 デザイン方針

方針 1

- 自然を感じる空間
- ・四季の彩りと変化に溢れ、自然が離したずらいを感じられること
 - ・1年を通じて誰もが心地よく過ごせること

方針 2

- 人々の集い
- ・ヒューマンスケールを尊重し、訪れる人々に安心感をもたらすこと
 - ・賑わいと落ち着きを創出し、人々のふれあいを生み出すこと

方針 3

- 街の記憶
- ・地図のように折り重なった周辺の街の歴史や記憶を取り込むこと
 - ・多くの人々を運び切っている線路が敷かれていた思い出を残すこと

方針 4

- 街の風景
- ・睦やかな街、落ち着いた街、それぞれの街並みや佇まいを映し込むこと
 - ・3つの地域を結ぶ“都市の中の回廊”により新たな街の風景を創り出すこと

方針 5

- 空間の変化
- ・世代が変わっても魅力を失わず、時間をかけてゆっくりと変化していくこと
 - ・人々の活動の積み重ねが地域の文化となり、それが形になって表されること

方針 6

- 市民の関わり
- ・街を見守り育む活動の場となり、暮い想いを次の世代に伝えられること
 - ・キラリと光る活動が場所に活力をもたらし、集まるみんなが主人公であること

第4章

区施設のデザインコード

4-1 組み立て

- ・空間を構成する7つの要素

4-2 構成

- ・6つの視点とデザイン方針との関係

4-3 詳細

- 「植栽」
 - ・変化に富んだ植栽
 - ・環境への配慮
 - ・つながりを意識
 - ・活動に結びつくみどり

「地面」

- ・人にやさしい舗装
- ・場所の個性を演出
- ・連續性を感じる素材・色
- ・時間の経過に対応する素材

「境界」

- ・エッジを和らげる
- ・一連的なプランニング
- ・街角を演出する

「照明」

- ・配光に考慮、工夫
- ・空間の演出
- ・つながりを表現
- ・季節感やイベントの演出

「ストックヤード」

- ・多様な用途、複合的な用途
- ・線形や質量の配慮
- ・市民との協働

「サイン・看板」

- ・見え方への配慮
- ・地域の歴史や線路の記憶
- ・つながりを表現
- ・変化に対応するシステム

「工作物など」

- ・意匠に配慮（工作物）
- ・つながりを表現

第5章

「北沢デザインガイド」の運用

5-1 デザインの調整及び情報提供

5-2 維持管理における活用

5-3 「北沢デザインガイド」の更新

「北沢デザインガイド」の運用イメージ

北沢デザインガイド

「植栽」

変化に富んだ植栽

つながりを意識



「地面」

連続性を感じる素材・色

場所の個性を演出



「境界」

街角を演出する

一体的なプランニング



「照明」

「ストリートファニチャー」



駅前広場ワークショップ

東北沢駅

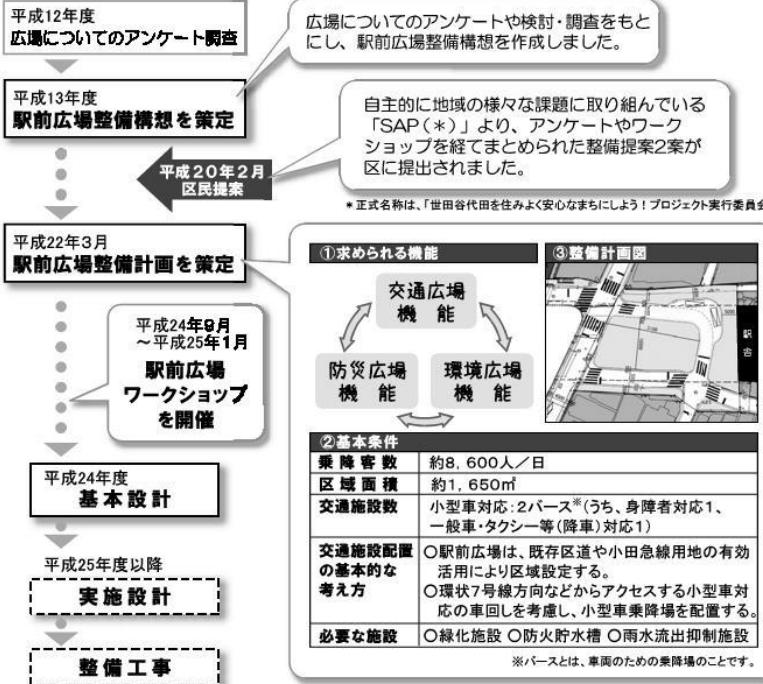


世田谷代田駅



世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

駅前広場の検討経緯と今後の予定



代田地域の街づくりを進めています。

駅周辺の整備に併せて、災害に強く、安心・安全に配慮した周辺の街づくりにも取り組んでおり、地域のみなさまのご意見をいただきながら検討を進めています。平成23年度には代田2・5丁目を対象にした3回の意見交換会を開催し、平成24年度は代田1～6丁目の全域を対象に地域の街づくりを進めるための基礎調査を実施しました。

その中間報告として、2月28日街づくり報告会でご報告した内容は、下記ホームページからご覧ください。

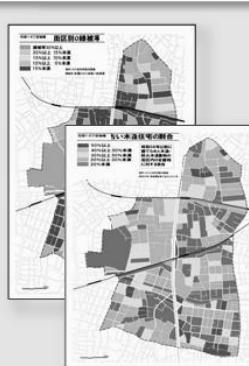
◆世田谷代田駅周辺街づくり報告会を開催しました

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/i102/120/345/347/d00123858.html>



トップページ > くじらのガイド > 住まい・街づくり・交通 > 街づくり・街づくり > 北沢総合支所管内の街づくり > 世田谷代田駅駅前広場の整備

なお、調査した内容は、あらためて本年度に報告会を開催し、みなさまにお知らせする予定ですので、お待ちください。



世田谷
代田

駅周辺
まちづくりニュース No.7

平成25年4月発行



世田谷区北沢総合支所街づくり課

世田谷代田駅駅前広場の ワークショップ整備案がまとめました



世田谷区は、小田急線の連続立体交差事業及び複々線化事業に併せて、世田谷代田駅の駅前広場を道路として整備します。平成21年度に策定した駅前広場整備計画を元に設置する施設（舗装・植栽・案内板等）のしつらえについて、周辺にお住まいの方や駅利用者にご参加いただいたワークショップで検討を行い、「世田谷代田駅駅前広場ワークショップ整備案」として取りまとめましたので、地域のみなさまにお知らせいたします。（次頁以降をご覧ください。）

世田谷代田駅周辺の街づくり報告会を開催しました...

平成25年2月28日(木)午後7時から、代田小学校ランチルームで世田谷代田駅周辺で行われている街づくりについて報告会を開催し、34名の方にご出席いただきました。

内 容 ①代田地域の街づくりの取り組み（基礎調査における中間報告）

代田地域の地域特性を説明し、今後とも良好な住宅街として緑を守り、より災害に強い街を目指すために、この地域にも街づくりのルールを検討していく必要性があることを報告しました。 ⇒6頁

②世田谷代田駅駅前広場の整備（駅前広場ワークショップ整備案について）

ワークショップで話し合いました内容について報告しました。 ⇒2～4頁

③環状七号線横断橋の整備

新たに整備する環状七号線の整備の概要を報告しました。 ⇒5頁



①最初に、地区街づくり基礎調査の中間報告を行いました。



②世田谷代田駅の「ワークショップ整備案」をみなさまに紹介しました。



③環状七号線横断橋の整備の概要を完成予想図を使って説明しました。

問合せ・ご意見の提出先

世田谷区北沢総合支所街づくり課

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階
電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

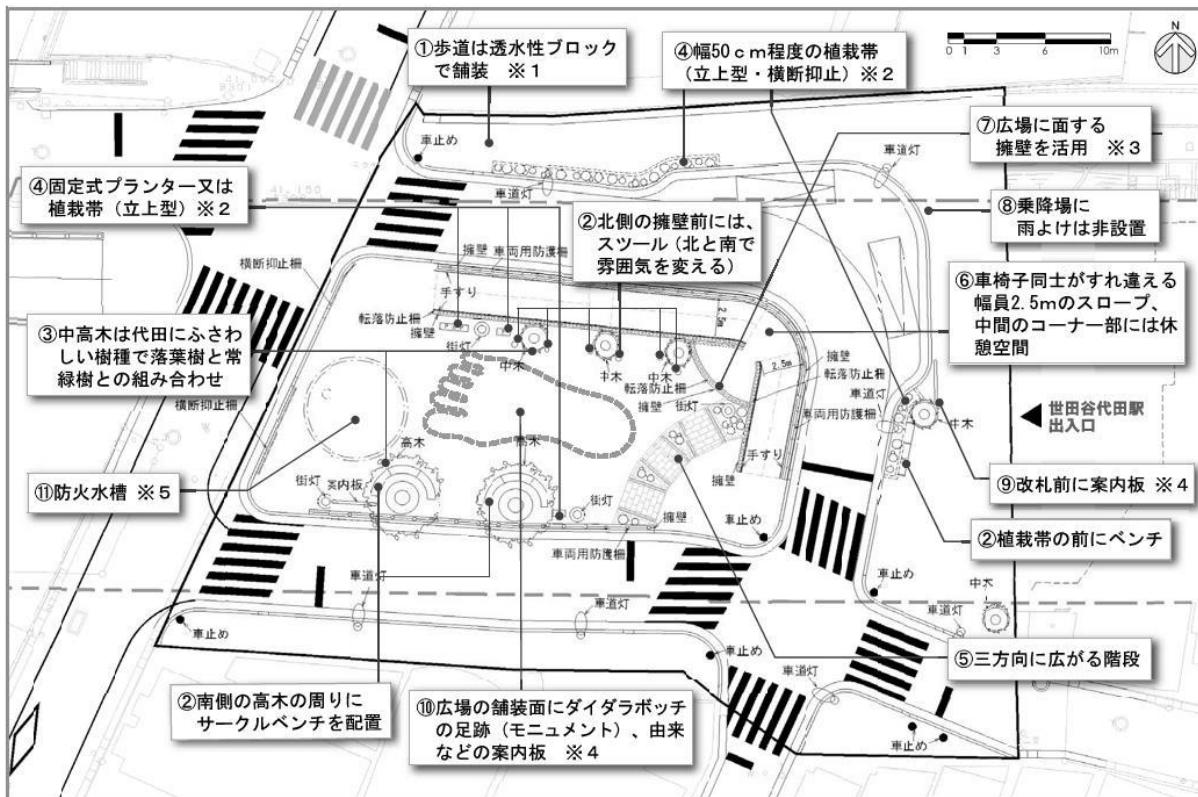
世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

世田谷代田駅前広場 ワークショップ整備案

全3回のワークショップ参加者の意見を取りまとめたこの整備案をふまえて、
区では設計を進めていますが、今後実施設計を進める中で変更する場合もあります。

整備コンセプト

おだやかな日常が歴史になるむら
～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～



今後の留意事項

- ※1 歩道の色は、上部利用計画との連続性を考慮 ①
- ※2 協定等により住民グループが維持管理する花壇を設置 ④
- ※3 広場内の壁面は、地域の意見や要望を取り入れたデザインや利用ができるようシンプルに整備 ⑦
- ※4 案内板等については、関係機関と協議をして設置 ⑨、⑩
- ※5 防災施設等は、上部利用計画にあわせて必要な施設を設置 ⑪

施設・整備

ワークショップの参加者から頂いた 主なご意見

①舗装

- 雨が浸透する路面の素材に（舗装）
- 中広場の部分はゴムチップ等の舗装で子供が遊べるように
- 世田谷代田の駅舎（ガラス張り、透明感）と合わせて、イメージカラーを考える
- 歩道の舗装は、上部利用部の通路と色を合わせる（グラデーションなども）

②ベンチ

- ベンチがほしいが、寝っころがれないような物に
- ベンチの位置は、待ち合わせで駅近くと広場の中に
- かまどベンチが良い
- 広場の南と北側は雰囲気を変えてベンチを設置

③みどり

- 高、中木をバランス良く、色々な種類をおりませる様に
- 高木…落葉とかー富士山が見たい、中木…常緑
- △広場全体が木陰になるよう 常緑（シラカシなど）多めに
- 世田谷代田の駅だけちょっと違う樹種でも良い 地元で育った木を

④プランター・植栽帯

- 木の部分には花を植えられるようにしたらどうか
- 地域の方が花を育てる場所を作る
- 花壇の管理はむずかしいのでは
- 移動できるプランターとかは
- 散水栓、スコップ置場があるといい

⑤階段

- 階段で高低差を解消し、広場内はできるだけフラットに
- △階段上をステージに
- △富士山を見られるポイントがあれば、広場に高いところはいらないのでは

⑥スロープ

- 階段にスロープがあると自転車を呼ぶような物ではないか
- スロープをもっと広くしてはどうか?真ん中の部分△スロープの途中にたまりをそこにも、モニュメントを

⑦壁面

- △たまりの立ち上がりの側面に何ができるのか
- △陶板など学校や地域で作ることもできるように

⑧乗降場（シェルター）

- 車寄せには雨よけの庇を車椅子でも乗り降りしやすく ○富士山が見えるように！「広く」使える

⑨案内板

- △案内板がほしい（デジタル時計付）腰高 ○駅前と広場の入り口にほしい（地図など） 乗る人と降りる人用
- △案内板の中に時計（腰の低い物） また、代田の由来なども入れたほうが良い ○ダイダラボッチと富士山を紹介する案内板

⑩モニュメント

- 世田谷代田のシンボル的なもの ○モニュメントがほしい（代田の歴史）だいだらぼっち
- 小田急線があつたことを残すもの（線路の絵） ○ダイダラボッチの足あと（舗装の色を替える）を広場にとか（踏まれて地面が下がった（高低差）イメージ）

⑪防災施設

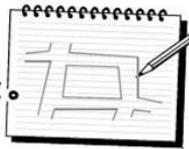
- △マンホールトイレ、防火水槽は必要 工夫して設置を ○防災倉庫等は配置計画に応じて設置すればいい

凡例

- ①～⑪：施設・設備の番号は、ワークショップ整備案の番号と対照しています。
- ：ワークショップ整備案に取り入れた考え方や反映できた意見
- △：ワークショップ整備案の一部に取り入れた考え方や反映できなかった意見
- ：その他（駅前広場の検討範囲外の意見、ワークショップ整備案では見送った意見等）

世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

世田谷代田駅前広場の ワークショップ整備案がまとめました。



駅前広場内に設置する施設（舗装・植栽・案内板等）のしつらえについて、駅周辺にお住まいの方や駅利用者のご意見を取り入れるため、全3回のワークショップを開催しました。ワークショップでは、駅前広場の使い方、雰囲気や代田の歴史から、みどり・眺望などについて、さまざまなご意見を頂き、検討を行った結果を「ワークショップ整備案」(右図)として取りまとめました。

駅前広場ワークショップでの検討経過



今後の予定

平成24年度

基本設計

平成25年度以降

実施設計

整備工事

進捗がありましたら、
皆様にお知らせして
いきます。



平成24年度は、このワークショップ整備案の内容をふまえて、基本設計を行いました。また、ワークショップ整備案の中で「今後の留意事項」とした内容について、今後関係機関との調整を行ってまいります。

現在のところ具体的な整備時期等は未定ですが、駅前広場の整備の内容や時期等に進捗がありましたら、今後とも機会を捉えて皆さんにお知らせをしていきます。

世田谷代田駅と東北沢駅の駅前広場ワークショップ整備案は、ホームページでご覧になれます。
今後、ご紹介している「世田谷代田駅前広場 ワークショップ整備案」の全文は、区のホームページからご覧になれます。また、同時に東北沢駅についてもワークショップを開催し、「東北沢駅前広場 ワークショップ整備案」を作成しました。こちらも、区のホームページからご覧になれます。

- ◆世田谷代田駅前広場 ワークショップ整備案
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashii/102/120/346/347/d00124682.html>
- ◆東北沢駅前広場 ワークショップ整備案
<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashii/102/120/346/347/d00124683.html>

トップページへ戻る
▶住宅・街づくり・交通
▶新規・インバウンド
▶北沢総合支所内の街づくり
▶世田谷代田駅駅舎応援の登録
(又は>東北沢駅駅舎応援の登録)



環状七号線横断橋の整備について

経緯

赤堤通りの環状七号線の横断部分には、宮上陸橋（車道）と代田歩道橋（北側歩行空間）がありますが、歩行空間である代田歩道橋に十分な幅員がなく、これまで地域の課題となっていました。

区は、環状七号線横断部において安全な歩行空間を確保するため、東京都・小田急電鉄の協力を得て、小田急線連続立体交差事業に合わせて環状七号線横断橋を架橋し、赤堤通りの南側の歩道として整備することとしました。

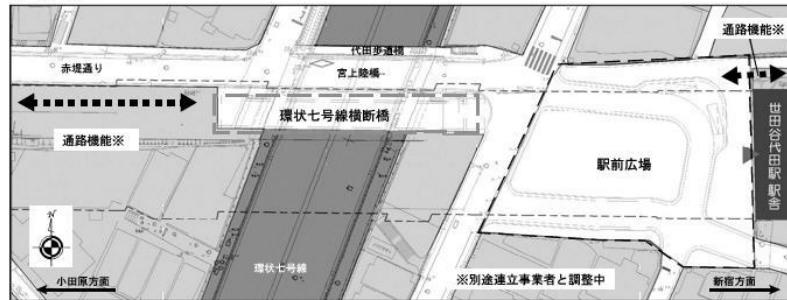


整備箇所の現在の状況



整備概要

平面図



- 横断橋の橋桁は、環状七号線の上空を横断し、橋桁を支える橋台は、地下の小田急線鉄道施設（トンネル）の上に設置します。
- 横断橋の整備にあたっては、東京都や小田急電鉄など関係機関と、安全で効率的な構造及び施工となるよう協議をしています。
- 平成25年度の環七横断橋本体工事の着手に向けて、現在、設計を進めております。
- ◆既存の宮上陸橋と代田歩道橋については、架け替えをせず維持修繕を行い、新設横断橋と合わせた3橋で環状七号線横断部の道路機能を確保していきます。

<横断橋の構造>

橋長	約4.3m
幅員	約5.8m (有効幅員5m)
用途	自転車及び歩行者専用
構造	上部構造形式：鋼床版箱桁 下部構造形式：逆T式

駅前広場 整備状況

東北沢駅



世田谷代田駅



広場整備ワークショップ（代田富士356広場）

整備後



開園セレモニー



広場整備ワークショップ（代田富士356広場）

(仮称)代田3-56広場

平成27年9月発行

広場整備ニュース第4号

世田谷区北沢総合支所街づくり課



※このお知らせは広場予定地の周辺にお住まいの皆様に配布しています。

広場の整備計画案をまとめました！

世田谷区では、小田急小田原線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)の上部に「(仮称)代田3-56広場」を整備します。この整備にあたり、地域の皆様と情報を共有し、意見やアイデアを出し合いながら整備計画をまとめていくため、全3回のワークショップを開催しました。

7月25日(土)には最終回となる第3回ワークショップを開催し、広場の整備計画案をまとめました。詳しくは2、3ページをご覧ください。今後は広場の整備計画案を基に、設計、工事を進め、平成28年度の春に開設する予定です。

＜整備のスケジュール＞

・平成27年度
5～7月



・ワークショップ風景

・11月頃から

・平成28年度 春

ワークショップ(全3回)
～広場のアイデアを出し合う～
～広場の整備計画をつくる～
～広場の活動や管理について考える～

ご参加いただき、ありがとうございました！

9月中旬 ニュース第4号

今回のニュースです

広場整備工事

広場利用開始予定

【お問い合わせ先】

世田谷区北沢総合支所街づくり課（担当：渡邊・小野・木村）

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階

電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

広場予定地の紹介と広場の名称について

＜位置図＞



＜現場風景＞



広場の名称について意見交換を行いました！

第3回ワークショップでは、広場の名称についても意見交換を行いました。「代田」の地名や「3-56」という住居表示を取り入れたもの、「富士山」「富士見」など富士山をイメージしたもの、「電車」「トレイン」「ぼっぽ」など電車をイメージしたものなど、たくさんの方のアイデアをいただきました。当日にあげられた広場の名称のアイデアをご紹介します。

代田電車広場
代田でんしゃひろば
代田でんわひろば
代田富士見広場
代田ふじみひろば
代田富士見ぼっぽひろば
代田ふじみぼっぽひろば
代田せんろひろば
代田せんろひろば

代田原っぱ広場
代田356広場
富士356広場
代田富士山電車ひろば
みんみのひろば
代田タウン広場
代田タウンひろば

・名称のアイデア

広場の名称案

「代田富士356広場（だいたふじみごろひろば）」

ワークショップでみなさんからいただいた案より、富士山が見える風景を大切にしたいという思いと、地域の愛称として住居表示の語呂合わせのアイデアを採用し、今後、決定に向けて手続きに入っています。

広場のニュースは世田谷区公式ホームページからご覧になれます。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/index.html>

トップページ>くらしのガイド>住まい・街づくり・交通>街づくり>街づくり>北沢総合支所管内の街づくり



広場整備ワークショップ（代田富士356広場）

第3回 ワークショップを開催しました！

7月25日(土)に代田小学校3階ランチルームにて第3回ワークショップを開催しました。

24名の方にご参加いただき「広場の整備計画をつくる」、「広場の管理や活動について考える」というテーマで意見交換を行いました。



計画案の気になるところ、良いと思うところ、もっとこうした方が良いと思うところなどについて、たくさんのご意見をいただき、参加者全体で共有しました。

広場の整備計画案

修景エリア

現況のアスファルトを一部撤去し、低木や地被植物などで修景することにより、敷地を有効活用する。

見晴らしスペース

子どもが近くで電車を眺められるよう、見晴らし台を設置する。

周回できる園路

車椅子やベビーカーでも周回できる園路、土地の記憶を感じさせる線路をイメージした舗装にする。

草地広場

見通しを良くするため施設は設置せず、開放的で多目的に利用できる広場スペースとする。



写真撮影スポット・モニュメントのアイデア
風景や記念写真の撮影ができるスポットと、鉄道をイメージしたモニュメントについては、今後も検討します。



※整備計画案は一部変更する場合があります

ワークショップを通じていただいたアイデアやご意見は広場整備に活用していきます。ご参加いただいた方々に感謝いたします。

広場整備ワークショップ（北沢さんきゅう広場）

整備後



ワークショップ



広場整備ワークショップ（北沢さんきゅう広場）

広場予定地の紹介・整備のスケジュール・広場の名称について

＜広場予定地の紹介＞



所在地：世田谷区北沢3-9

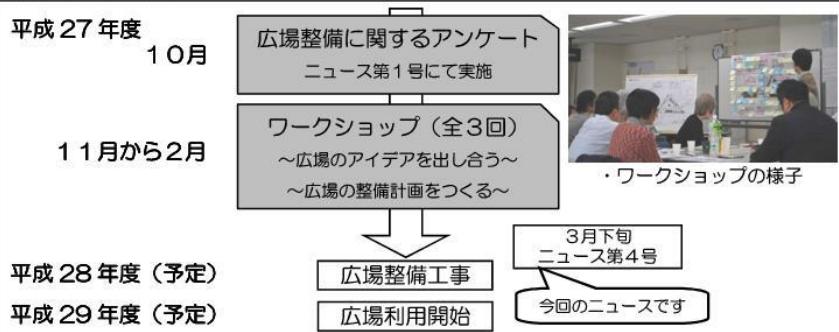
特徴：・閑静な住宅地に囲まれています。

- ・敷地の中ほどで高低差（約1.5m）のある段状の地形となっています。
- ・3つの三角形が連なった形状となっています。

現場風景



＜整備のスケジュール＞



＜広場の名称について＞

第3回ワークショップにて、広場の名称のアイデアをアンケートの形でご回答いただきました。「東北沢」の駅名や「3-9」という住居表示、敷地の形状（三角形）を取り入れたものなどがあげられました。アンケートでいただいた広場の名称のアイデアをご紹介します。

- ・東北沢の森
- ・ヒカリタ広場
- ・きたざわのにわ
- ・サン（3）カク（9）広場
- ・39公園

今後、いただいたアイデアをふまえ、地元町会と相談しながら、名称を決めていきます。

広場のニュースとアンケートの結果は、世田谷区公式ホームページからご覧になれます。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/index.html>

トップページ>くらしのガイド>住まい・街づくり・交通>街づくり
>街づくり>北沢総合支所管内の街づくり>小田急線北部利用の街づくり

（仮称）北沢3-9 広場

平成28年3月発行

広場整備ニュース第4号

世田谷区北沢総合支所街づくり課



※このお知らせは広場予定地の周辺にお住まいの皆様に配布しています。

広場の整備案をまとめました！

世田谷区では、「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」に基づき、東北沢駅の西側に（仮称）北沢3-9広場の整備を予定しています。

この広場の整備を進めるにあたり、地域の皆様とアイデアを出し合いながら、整備計画をまとめていくため、全3回のワークショップを開催しました。

第3回ワークショップの開催

平成28年2月6日（土）に北沢タウンホール11階 らぶらす研修室3・4にて、第3回広場整備ワークショップを開催しました最終回となるこの日は、14名の方にご参加いただきました。

整備案（たたき台）の検討

事前のアンケートや第1回、第2回ワークショップでいただいたご意見をふまえた広場の整備案（たたき台）を紹介しました。

たたき台に対してご意見をいただき、整備案をまとめました。

- ・よりシンプルなデザインがいい。
- ・行き届いた緑地の管理ができるようにしたい。
- ・広場を広く利用したい。

などのご意見がありました。



・たたき台に対していただいたご意見

・整備案をまとめる際の意見やアイデアなど

整備案は2、3ページをご覧ください。

広場の整備案をもとに、設計、工事を進め、平成29年度に開園する予定です。

【お問い合わせ先】

世田谷区北沢総合支所街づくり課（担当：渡邊・木村・松坂）

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階

電話：03-5478-8031 フaxシミリ：03-5478-8019

広場整備ワークショップ（北沢さんきゅう広場）

広場の整備案

広場のイメージ

- 静かな、穏やかな利用の広場（ほっと一息、憩い）
- 近隣住居への配慮をした広場
- 広場ゾーンと緩衝ゾーンのある広場
- 災害対策の広場（いざというときに役立つ）
- 住民が関わる広場
- 低木や花ものが植栽された広場（四季の草花、みどりを楽しむ）

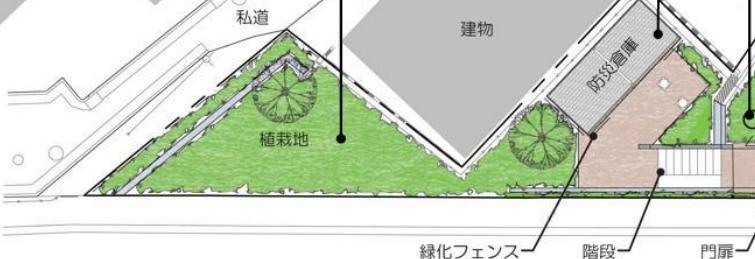
防災倉庫

防災倉庫は、緩衝ゾーンに設置し、緑化フェンスなどを使い、景観に配慮します。

*防災倉庫は、『広域用防災倉庫』として、避難所運営用倉庫の補完をするとともに、広域避難場所で必要となる物品を備蓄し、世田谷区が管理します。

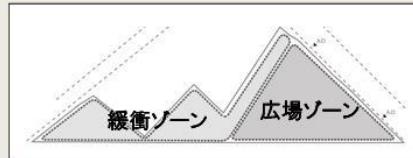
修景エリア

植栽で四季の表情を表現し、道行く人も楽しめるようにします。低木や地被類など、背の低い植物で修景します。



緩衝ゾーンと広場ゾーン

広場の西側のスペースは見通しが悪く、住居が近いため、防犯に配慮し、管理者のみに入るようとする緩衝ゾーンとし、誰もが使える一般利用の広場ゾーンと区域分けをします。



近隣住居への配慮

敷地の境界には、近隣のプライバシーに配慮し、植栽、フェンスを設置します。
細かいづくりについては、近隣にお住まいの方と調整していきます。

ソーラー灯

災害時にも使えるソーラー灯を設置します。

広場と道路との段差

出入口①について、スロープを設置する、広場全体を斜面にして段差を小さくするなどのご意見をいただきました。

スロープを設置すると約20mの長さが必要になります。広場が小さくなること、斜面にすると広場として使いづらくなること、今回は、災害対策の広場として活用することも考慮して『広場は、平らで広く使う』ことを優先し、出入口①は階段とします。

接道部

北側道路と広場側の高低差を活かして、斜面を植栽することで、道行く人も、みどりを楽しめるようにします。

また、フェンスなどを設置せずに見通しを確保します。

シンボル樹とベンチ

シンボル樹を中心に、ベンチを設置します。



パーゴラと収納ベンチ

日陰で休めるようにパーゴラを設置し、その下に収納ベンチを2基配置します。

憩いの広場

広場は、植栽地に囲まれ、ベンチなどを配した、ほっと一息つける憩いの広場とします。

* 整備案は一部変更する場合があります。

ワークショップを通していただいたアイデアやご意見は広場整備に活用していきます。ご参加いただいた皆様にお礼申し上げます。

北沢PR戦略会議

北沢PR 戦略会議

～自らまちの魅力を伝えたい方、求めます～

下北沢駅周辺では、小田急線の連続立体交差事業と複々線化事業の工事が進められています。小田急線の地下化に伴い生じた線路跡地の利用（上部利用）部分では、今後、駅前広場や緑地・小広場などが整備され、周辺のまちも大きく変わろうとしています。

「北沢PR戦略会議」では、まちの魅力発信や来訪者に対する案内、新たにできる上部利用区施設の管理運営を検討するとともに、実際にまちで活動する方を募集します。

このまちの魅力を伝えるために、あなたのアイデアと活動の輪を広げてみませんか。

第1回北沢PR戦略会議

プログラム

- ◇活動のアイデアを出し合う
新たに行う活動、部会についてのアイデアを出し合います。
- ◇活動の計画を立てる
それぞれの部会で今後の活動の計画を立てます。

日時：平成28年10月16日(日)

午前10時～12時30分

会場：北沢二丁目区民集会所

※詳細は裏面をご参照ください。

参加者を募集します！
下記<申し込み先>からお申し込みください！

<申し込み先>

下記電話番号へお申し込みください（申し込み期間：9月9日(金)～10月13日(木)）。

定員は設けませんが、申し込み多数となった場合、会場を変更することがあります。

□せたがやコール 電話番号 03-5432-3333

北沢PR 戦略会議

北沢PR戦略会議とは

北 沢PR戦略会議では、地域を盛り上げる取り組みに関心のある方を募集しています。

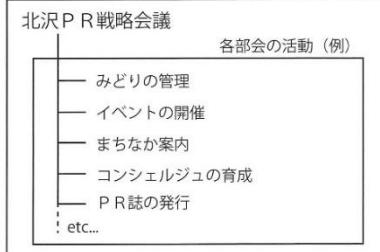
今回の全体会議では、今後の取り組みについて、アイデアを出し合い、方針を決めていきます。出したったアイデアの中から各活動のテーマを決め、「この活動に参加してみたい！」というメンバーで部会をつくります。

今年度は、この部会で検討を重ね、計画づくりや実施の準備を行い、来年度以降、本格的な活動へ移っていく予定です。

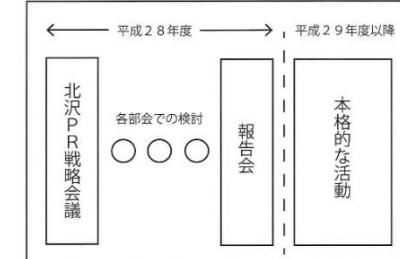
これまで、北沢デザイン会議や区施設検討のワークショップでは、整備に関する内容が中心でした。これからは、「まちへの関わり方を考え、区施設の活用や管理運営などを実践していく場」につなげていきます。

小田急線の線路跡地に新しく作られる空間をはじめとした、まちの魅力を高め、発信する活動に参加してみませんか。

北沢PR戦略会議と部会のイメージ



今後の進め方（予定）



・会場のご案内

北沢二丁目区民集会所

世田谷区北沢2-2-7

N.F.ビル2階

※民間ビルの2階です。

※同じ建物内で他の事業所が営業しています。

来場の際はご配慮ください。

<問い合わせ先>

世田谷区北沢総合支所街づくり課（北沢2-8-18 6階）担当：渡邊、木村

電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

北沢PR
戦略会議

北沢PR戦略会議

お知らせ

平成30年4月、下北沢駅仮北口改札前に
(仮称)下北沢駅前案内所を開設します！

北沢PR戦略会議にて検討を進めていた、
駅前に開設する案内所について、第4回全
体会議でその概要を報告しました。

■建物概要

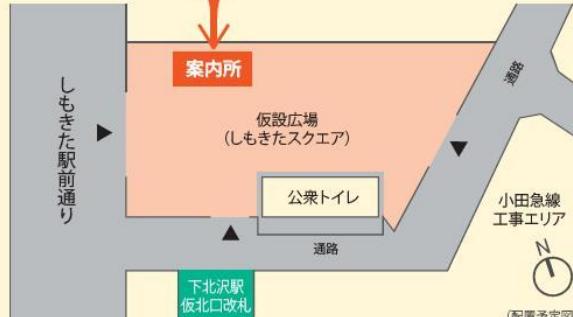
【建築形態】仮設建築物
【規模】約15mの平屋建て
【目的】道路事業やまちの
情報の案内

案内所の開設経緯や案内人の
情報についてはこちらへ
<http://bit.ly/shimokita-info>
(北沢PR戦略会議案内部会)



Coming Soon!!!

北沢PR戦略会議の
プロジェクト紹介



案内所は、世田区街10号線(駅前広場)の道路予定地を活用した仮設広場(しもきたスクエア)内に設置する予定です。
※調整中のため、案内所の位置は変更する可能性があります。

北沢PR 戦略会議の 進め方

北沢PR戦略会議では、日々の部会活動を基に年2回の
全体会議と年度末の報告会を行っています。

平成30年度も開催予定です。
(日程等は現在調整中です)



《問い合わせ先》 世田谷区北沢総合支所街づくり課 担当：渡邊、北島、高安
世田谷区北沢2-8-18 電話：03-5478-8074 フaxシミリ：03-5478-8019

自らまちの魅力を伝えたい方、求めます

北沢PR 戦略会議

第4号
かわら版
平成30年2月

第2回報告会を開催します！

北沢PR戦略会議で今年度活動してきた内容を地域の皆さんに
ご報告する会を開催します。

また、今回は座談会なども予定しています。

どなたでも見学できますので、ぜひお気軽にお越しください！

報告会 プログラム(予定)

- 各部会の活動報告
- 区からのお知らせ
- 座談会
 - 【テーマ】
下北沢における
エリアマネジメントなどの
可能性について

見学の申し込み

会場
下北沢成徳高等学校
ミモザホール
(世田谷区代田6-12-39)



見学をご希望の方は、2月14日(水)までに4ページの
《問い合わせ先》にお申し込みください。
(手話通訳有・入場無料)



北沢PR戦略会議

部会のご紹介

地域の方が集まってこんな活動をしています。
皆さんも参加しませんか？



シモキタ編集部

情報発信

これまで

- ・100人100色（インタビュー調査）
- ・シモキタ探検隊（地域探索）
- ・これから
- ・インタビュー調査を充実したい。
- ・各部会の情報発信をしたい。



シモキタの新たな 公共空間を再考する部会

新しい公共空間を考える

これまで

- ・小田急線連続立体交差事業についての情報収集、分析
- ・これから
- ・今後生み出される憩いの空間の利用を再考したい。
- ・区や小田急、京王と対話をしていきたい。



9つある部会の詳しい活動内容をまとめました。

2月18日の報告会で発表します。是非ご来場ください。



イベント井戸端会議

イベント案内

これまで

- ・下北沢駅周辺のイベントの分析
- ・下北沢駅前食品市場の写真パネルギャラリーの開催

これから

- ・誰もが北沢のイベントを知ることができるイベントカレンダー（WEB）を作ろう。



子どもから高齢者まで 安全にすごせる ユニバーサルデザイン部会

ユニバーサルデザイン

これまで

- ・まちの点検…使いやすいトイレやユニバーサル対応の建物など
- ・これから
- ・車椅子などに店員さんが対応してもらえるお店情報を收集・発信したい。
- ・当事者の声を伝えたい。

キタザワ リ・サーチ

基礎データの収集・分析

これまで

- ・下北沢駅周辺地域の人口、世帯数、年齢層を分析
- ・下北沢駅周辺の自動車動線の調査

これから

- ・お店の業種や各世代や地域に合ったお店などを調査したい。



下北駅広部会

下北沢駅 駅前広場

これまで

- ・「駅前広場に欲しいもの」のシールアンケートの実施
- ・下北沢駅周辺の地形模型の作成
- ・これから
- ・「駅前広場に欲しいもの」のデザインを考え提案したい。
- ・暫定利用整備についても考えたい。

北沢PR 戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線上部利用施設等の整備によるまちの変化に伴い、地域の皆さんによる区施設の活用や、上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。



公共空間 運用ルール部会

新しい公共空間の運用ルール

これまで

- ・下北沢駅南西口のオープンに伴う課題の検討

これから

- ・数年後の完成に向け、様々な課題整理と今後の活動の引き継ぎ方を考えたい。

シモキタ緑部会

緑・エディブル

これまで

- ・エディブルガーデンの維持管理
- ・公園や緑化システムなどの事例研究
- ・勉強会、講演会の開催

これから

- ・西側小広場や駅前広場などに緑の提案をしたい。

下北沢案内部会

案内・コンシェルジュ

これまで

- ・案内所の運営方法や体制の検討

これから

- ・運営体制の整備を考えたい。
- ・案内人やコンシェルジュの募集と育成を進めたい。

平成29年12月10日に第4回全体会議を開催しました！

（これまでの経緯は4ページをご覧ください。）

○9部会の活動報告

○ボード交流会の実施

世田谷区が検討中の事業や今後進めていきたいこと、新しい活動のヒントなどをボードに貼って紹介し、意見交換しました。

- ・下北沢駅西側エリア（立体緑地、小広場等）
- ・小田急線上部通路に区が設置するサインのイメージ
- ・世区街10号線（交通広場）の整備想定スケジュール
- ・地域団体（SAP）による環七壁画全面塗り替えの活動報告
- ・アイデアストックボードの提案
- ・エリアマネジメントの勉強会予告



北沢PR戦略会議

新型コロナウイルス感染症の感染防止策について

●会場内の感染防止策

- ① 室内の換気、マイクなどの物品の消毒の徹底
- ② 手指の消毒及びマスク着用
- ③ 座席間の間隔の確保



●ご参加予定の皆様へのお願い

- ① 体調のすぐれない方、ウイルス感染の可能性のある方はご来場をお控えください。
- ② ご来場時のマスク着用、筆記用具の持参にご協力をお願いします。
- ③ 会場入室時の手指の消毒、検温等にご協力をお願いします。



※新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）について

厚生労働省は新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を提供しています。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覗ください。

⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



北沢PR戦略会議の開催状況

全体会議

部会間での活動状況の情報共有や、今後の活動についての意見交換を行う場です。

報告会

活動成果を地域の皆さんに報告する場です。



《問い合わせ先》 世田谷区 北沢総合支所 街づくり課 担当：北島、伊藤
世田谷区北沢2-8-18 電話：03-5478-8073 フaxシミリ：03-5478-8019

自らまちの魅力を伝えたい方、求めます

北沢PR 戦略会議

第6号
かわら版
2020年11月

第9回全体会議を開催します！

北沢PR戦略会議は、テーマ別の9つの部会が活動しており、この度、部会間での活動状況の情報共有や、意見交換を行う全体会議を開催します。（これまでの開催状況は4ページ参照）

どなたでも、ご参加いただけます。事前の申し込みをお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、延期や内容変更がある場合がございます。

●会場参加

«一般 定員20名（先着）»

【お申込先】北沢総合支所街づくり課

電話：03-5478-8073 フaxシミリ：03-5478-8019

（お名前・電話番号をご記入ください）

«部会員»

各部会の世話を人直接お申込みください。

●オンライン参加

北沢PR戦略会議の世話をによる

オンライン配信も予定しています。

詳しくは、北沢PR戦略会議のHPにてご確認ください。

二次元コード



北沢PR戦略会議
のホームページ
<http://kitazawa-pr.com/>

第9回 全体会議
2020年 12月 12日（土）
15:00～17:00

事前申し込み・定員制（無料）

プログラム（予定）

- 各部会の活動報告
- 全体意見交換
テーマ：「まちの課題について」



※世話を人とは、各部会のまとめ役の方々です。

北沢PR戦略会議

これまでの活動の振り返り

昨年度は、全体会議を2回開催し、各部会が集まって情報共有や討論を行いました。運営については世話人会※が積極的に携わってきました。

※世話人会とは、部会のまとめ役である世話人が集まり、情報共有や今後の進め方などを話し合う会です。

9つの部会と1つのプロジェクトチームの活動テーマ

部会名称	活動テーマ	部会名称	活動テーマ
シモキタ編集部	まちや北沢PR戦略会議についての情報発信	下北駅広部会	下北沢駅前広場のあり方について考える
下北沢案内チーム	まちの案内・コンシェルジュ	公共空間運用ルール部会	公共空間などについての運用ルールづくり
シモキタの新たな公共空間を再考する部会	新しい公共空間についてのあり方を考える	キタザワリ・サーチ	基礎データの収集・分析
イベント井戸端会議	地域の文化に合ったイベントの検討	まちピアノプロジェクト	音楽・芸術が近くにある生活環境づくり
子どもから高齢者まで安全にすごせるユニークサルデザインチーム	誰もが安全に使いやすくわかりやすい街づくり	テーマ別に分かれて部会活動をしています。部会はどなたでも参加できます。ご興味のある方は4ページの問い合わせ先までご連絡ください。	
シモキタ緑部会	街中に緑を増やす		

昨年度の全体会議の開催状況

第7回全体会議

開催日時：令和元年7月13日（土）
10時00分～12時00分

場所：北沢タウンホール3階
ミーティングルーム

参加者数：56名

内容：1) 各部会による報告
2) 全体意見交換



屋外で全体会議を開催しました！

第8回全体会議

開催日時：令和元年11月3日（日）
12時30分～15時30分

場所：下北沢駅前線路跡地（屋外）

参加者数：約120名

内容：1) 各部会による報告
2) 全体意見交換



北沢PR戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線上部利用施設等の整備によるまちの変化に伴い、区施設の活用や上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を地域の皆さまが検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。

もっと地域を知りたい、地域の良さをみんなに知ってほしい、地域を盛り上げたいなど、あなたの想いを拡げていくことができます。

"地域とつながる" 主な活動のご紹介

昨年度は、「地域とつながる活動」を年間テーマとして取り組んできました。その中の主な活動をご紹介します。

まちピアノプロジェクト

世田谷代田駅でまちピアノを実施しました

平成31年3月16日から28日と、令和元年8月24日から9月1日までの2回、まちピアノプロジェクト実行委員会の運営の下、小田急線世田谷代田駅構内においてまちピアノを実施しました。

期間中は延べ約300人の方に演奏していただき、駅構内にピアノの音色が響き渡りました。



まちピアノの様子

詳細は→ まちピアノ プロジェクト

www.facebook.com/machipianoshimokita/

下北沢案内チーム

下北沢まちの案内所の運営！

平成30年に設置された下北沢駅前の案内所は、下北沢案内チームを中心に運営しています。

お笑い芸人による案内に続き、昨年度は新たな試みとして、歌手のボランティアによるまちの案内を行ない幅広い方に利用していただきました。

駅前広場工事に合わせて駅から見やすいようサインを設置するなど、少しずつ改良を加えながら運営を続けています。



案内所の様子

下北駅広部会

下北沢 リンク・パークが始動！ 他団体と連携したイベントも開催しました

下北沢リンク・パークは、誰もが自由に座れる椅子（青い箱）を置くことで、生活者・来街者にとって居心地の良い空間をしつらえ、にぎわいをつくる活動をしています。

昨年度から、下北沢駅前の道路予定地等に椅子を置き休憩場所を作る活動を開始しました。また、東北沢駅前での実施や、子育て支援団体と連携したイベントも開催し、幅広く活動しました。



シモキタストリートプレイ

詳細は→ 下北沢 リンク・パーク

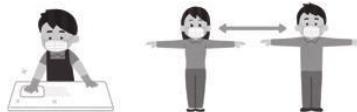
www.facebook.com/shimokitazawalinkpark/

北沢PR戦略会議

新型コロナウィルス感染症の感染防止策について

●会場内の感染防止策

- ① 室内の換気、マイクなどの物品の消毒の徹底
- ② 手指の消毒及びマスク着用
- ③ 座席間の間隔の確保
- ④ 会場の利用人数の制限（収容率50%以下）



●ご参加予定の皆様へのお願い

- ① 体調のすぐれない方、ウイルス感染の可能性のある方はご来場をお控えください。
- ② ご来場時のマスク着用、筆記用具の持参にご協力をお願いします。
- ③ 会場入室時の手指の消毒、検温等にご協力をお願いします。



※新型コロナウィルス接触確認アプリ（COCOA）について

厚生労働省は新型コロナウィルス接触確認アプリ（COCOA）を提供しています。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

⇒ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



北沢PR戦略会議の開催状況

全体会議

部会間での活動状況の情報共有や、今後の活動についての意見交換を行う場です。



報告会

活動成果を地域の皆さんに報告する場です。



昨年度の報告会（オンライン開催）

《問い合わせ先》 世田谷区 北沢総合支所 街づくり課 担当：北島、伊藤、臼井
世田谷区北沢2-8-18 電話：03-5478-8073 フaxシミリ：03-5478-8019

詳細は、[世田谷区北沢PR戦略会議](#) 検索

自らまちの魅力を伝えたい方、求めます

北沢PR 戦略会議

第8号
かわら版
令和4年3月

第5回報告会を開催します！

おかげさまで、北沢PR戦略会議は、今年度で5周年を迎えました。

5周年の今年度は、今後に向けて北沢PR戦略会議の在り方や名称について話し合ってきました。

その成果を地域の皆さんにご報告する報告会を開催いたします。

北沢PR戦略会議の
名称が変わります！

第5回報告会プログラム

1. 部会活動のご紹介
2. 今後の北沢PR戦略会議と新名称について

第5回報告会 令和4年 3月21日（月・祝日）

参加自由



晴れ
の場合

10:00 ~ 12:00



雨
の場合

会場：

下北沢駅前 線路跡地（屋外）

「オオゼキ 下北沢店」横

世田谷区北沢 2-32

会場：※雨天時は会場が変わります！

北沢タウンホール

2階 ホール

世田谷区北沢 2-8-18

晴れ
の会場



雨
の会場

※会場には駐車・駐輪はできません。

※新型コロナウィルス感染症の感染状況により、内容の変更や人数制限等が生じる場合があります。

雨天等による会場の変更は北沢PR戦略会議のサイトで前日13時にご案内します。

「世田谷区北沢PR戦略会議」
で検索してください。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokujisumai/003/002/002/d00148831.html>



音声コード



北沢PR戦略会議

今年度の活動の振り返り

~北沢PR戦略会議は5周年を迎えました~

今年度は、コロナ禍で制約がある中、これまでの部会活動に加えて、部会を横断した学びの企画や全体会議・世話人会等様々な活動を行いました。

世話人会で今後のことについて議論を積み重ねてきました

世話人会では、これまでの5年間を振り返り、部会の再考やこれから北沢PR戦略会議の在り方、名称等について議論を重ねることで、今後の方向性が見えました。

報告会では、新たな会の名称と、そこに至った経緯等をお伝えする予定です。

又、それと並行して新たな会の活動を紹介するリーフレットの作成を進めています。

リーフレット作成！！
新たな名称や会の全体像が
分かる内容になっています。



世話人会の様子



議論を記した板書（一部）

第10回全体会議を開催しました

開催日時：令和3年12月19日（日）
9時00分～12時00分

場所：北沢タウンホール2階 第1集会室

内 容：各部会の活動報告と全体意見交換
意見交換のテーマ
「これからの北沢PR戦略会議について」
参加人数：35名

<これからについて>

北沢PR戦略会議はスタートして
5周年になります
どうしたら街に貢献できるのか
世話人会で議論をしてきました



<会の名称について>

会議の名称も新たに変更することで
今後の方向性をより明確にしたいと思
います

ハードルを低くして
みんなが入ってこられる
場であって欲しいな

ここは、どんな立場でも
意見を言い合える、解決で
はなく検討の場だと思う

温かい雰囲気が全体
に漂う名称が良いな

街への要望が深まり、
ファンになっていく
ニュアンスがポイント
だと思います

北沢PR 戦略会議とは

北沢PR戦略会議は、小田急線の利用施設によるまちの変化に伴い、区施設の活用や上部利用施設及びその周辺の「まちの魅力」を高める活動を地域の皆さまが検討し、実践していく場です。地域の様々な団体と活動を通じて交流し、地域の想いをつなげていきます。

もっと地域を知りたい、地域の良さをみんなに知ってほしい、地域を盛り上げたいなど、あなたの想いを拡げていくことができます。

部会活動を継続して行いました

下北沢案内チーム

子どもから高齢者まで安全に過ごせるユニバーサルデザインチーム

下北沢まちの案内所の運営

コロナ禍で案内人の確保が困難な中、歌手のボランティアによるまち案内や掲示物等の工夫をして案内を行いました。



まち歩きワークショップ開催

講師に東京都市大学の稻垣准教授をお招きして、「シモキタらしいユニバーサルデザインの工夫を探そう！」と題して、まち歩きとワークショップを行いました。



講師：稻垣真志先生
(東京都市大学)

詳細は、下北沢コンシェルジュ協会 検索

詳細は、シモキタらしいUD 検索

駅広部会

下北沢リンク・パークを開催

誰もが自由に座れる青い椅子を置くことで、街に憩いの場をつくる活動を令和元年度から行っています。今年度は、下北沢の駅前でも開催しました。



詳細は、下北沢リンクパーク 検索

みんなで学びました

第1回テーマ：まちづくり活動の情報発信について 令和3年11月24日

記録・理解・共感・参加のための情報が何か考えましょう

講師：齋藤啓子先生
(武藏野美術大学)

講師の齋藤先生から「記録」「理解」「共感」「参加」という、地域活動の情報発信の目的と、それらのプロセスにおけるポイントを教わり、後半はワークショップで実際にプロセスを体験しました。



第3回テーマ：まちの災害対策について 令和4年1月21日

区の防災についての考え方をお伝えします

講師：壽嶋聰子係長
(世田谷区北沢総合支所 地域振興課)

下北沢の災害時の対策の基本的な考え方について、区の担当係長より説明を受けました。

令和3年12月8日

第2回テーマ：公共空間の活用について

自由が丘では議論の場、意思決定の場を明確にしています

講師：
中山雄次郎先生
(自由が丘商店街振興組合 / ジェイ・スピリット事務長)



北沢 P R 戦略会議

全体会議・報告会



下北沢駅前仮設広場 案内所

イベント活用・ボランティアによるライブ



まちピアノプロジェクト

世田谷代田駅構内での開催



小田急線上部利用の参加のデザイン

◆住民参加と情報開示の仕組み

北沢デザイン会議 区主催（経過報告・意見交換）

→ 北沢デザイン通信 発行

北沢PR戦略会議 区民主催（部会・全大会議・報告会）

→ かわら版 発行

◆ワークショップの開催

上部利用デザインワークショップ（北沢デザインガイド）

下北沢駅 駅前広場ワークショップ 提案書

東北沢駅 駅前広場ワークショップ

世田谷代田駅 駅前広場ワークショップ

代田富士356広場 ワークショップ

→ 代田みごろ花植え隊 結成

北沢さんきゅう広場 ワークショップ

→ やまぼうし 結成

シモキタリングまちづくり会議

ごあいさつ

会のはじまり

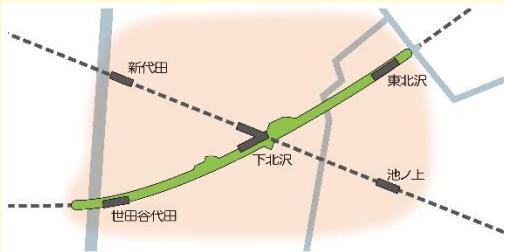
東北沢～下北沢～世田谷代田の区間は、道路と鉄道の連続立体交差事業により地域全体に大きな変化がもたらされてきました。この事業を進めるには地域住民の意向を反映することが基本となっています。下北沢地区の小田急線連続立体交差事業にまつわる行政訴訟は2016年3月の和解を経て、世田谷区における住民参加をさらに前向きに進める契機となりました。「北沢PR戦略会議」はその一環として同年10月に「幅広い住民参加の議論の場」「まちの魅力を高める活動の検討・実践の場」として、世田谷区支援のもとスタートしました。

話し合いと活動の両輪

緑と防災の基軸や歩いて楽しめる街の実現に向けて、新たな公共空間の利用についての議論を重ねながら鉄道事業者などの協力の下、住民の自主的な街づくり活動を行っています。現在8つの部会がテーマ別に活動しています。

新名称を考えました

この度、5年の活動を踏まえ、住民参加と地域住民の自主的な活動をより深化させていくこうという趣旨で「北沢PR戦略会議」を新名称へと変更しました。新たな名称は「シモキタリングまちづくり会議」。「リング」はまちづくりの輪を意味します。地元町会や地元商店街などと連携を深めながらまちづくりを進めていきたいと考えています。シモキタ地域をより魅力ある街にするため一緒に活動しませんか。



こんな部会・プロジェクトで活動中です

○ まちづくり会議

まちづくりに関心のある人なら誰でも、自由に話し合うことのできる場です。みんなで知恵を出し合い、力を合わせてまちづくりにつなげていくことをめざしています。

■ 新公共空間再考部会

シモキタの連立事業の歴史と裁判和解を踏まえ、事業の検証をしつつ「緑と防災の基軸」「歩いて楽しめる街」「文化の街」の観点から新たな公共空間の実現をめざします。

■ リ・サーチ部会

見逃されがちな着眼点から、まちづくりに必要なデータを集め、街の現況を調べたり、提案を行っています。

■ 健幸会

毎朝のラジオ体操を通じて、健康が自分の幸せとなり、その延長線上にある幸福なまちの姿を考えて活動しています。

■ まち運営調整部

住民・商業者・鉄道事業者・世田谷区・警察・消防などとまちづくり情報を共有し、まちの運営について検討・提言する会議体をめざしています。

■ シモキタ園芸部

まちの植物を地域の共有資源とみなし、丁寧に手を入れ守り育てながら、緑と人が関わり合う、シモキタの新しい園芸文化をつくっていくことをめざしています。

■ 駅広部会

下北沢駅前に新しくつくられる空間のあり方や運営方法を考え、様々な団体をつなげるアクションを起こしています。

■ 案内部会

「まちの案内所」と「街歩きイベント」の活動をしています。

■ だれにも安心でやさしいユニバーサルデザイン部会

この街で暮らしている人、働いている人、いろいろな障がいのある人、外国人の人、こどもからお年寄りまで、すべての人へのバリアフリーを大切にしたまちづくりをめざしています。

● まちピアノ・プロジェクト(裏面に詳細を掲載しています)

● 下北沢リンク・パーク(裏面に詳細を掲載しています)

誰でも参加できる
まちづくりを目指して

シモキタ リング

「誰でも参加できるまちづくり」をめざして活動してきた「北沢PR戦略会議」が「シモキタリング まちづくり会議」と名称変更しました。街で活動するひと、暮らしているひと、働いているひと、遊びに来たひと、誰もがまちづくりに関われるシモキタ。いろんな想いを集めたいいろんな色を持った活動が、生き生きとしたシモキタをつくっていく。そんなイメージを「シモキタリング」にこめました。ぜひ、あなたも一緒に。

ぜひQRコードからご連絡ください。



シモキタリングまちづくり会議

「シモキタリング」って何だろう。

真ん中の白いまるはなに？

「シモキタリングまちづくり会議」といいます。

自由な意見交換の場として

みんなのまん中に置かれたテーブルみたいなもの。

シモキタリングの大切な拠点です。

周りのまるは何だろう。

まちづくり活動の参加者です。

テーマごとに「部会」というグループがあって
それぞれ、様々な活動をしています。

まん中のテーブルを囲むようにして

部会同士が連携した活動も行われています。

どんな部会があるの？

すでに活動している部会が8つあります。

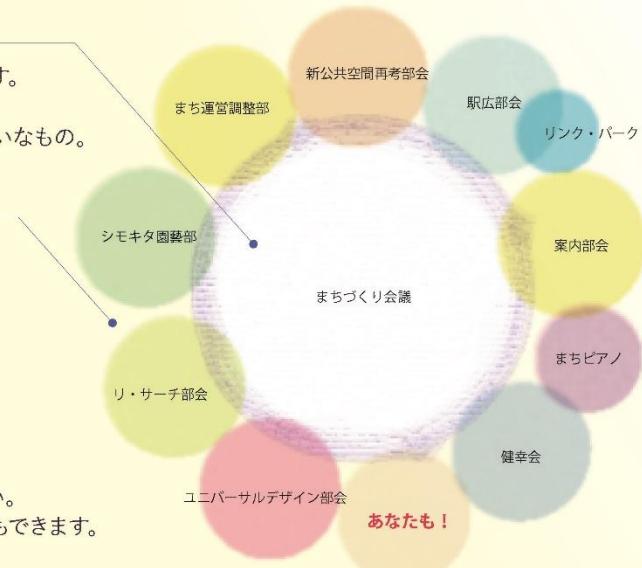
裏面に各部会を紹介しているのでご覧ください。

また、新しい部会を提案して活動を始めることもできます。



誰でも弾ける、まちピアノやってます

下北沢を歩くと、きこえてくるピアノの音色。美しい旋律に足をとめ、聴きいり、曲の終了と同時に笑顔で拍手するひとびと。音楽を愛するひとが多く集うシモキタならではの街角の風景です。新しいコミュニケーションの場と時を創出しようという私たちのプロジェクトです。



下北沢リンクパークで、空き地を開放

下北沢リンク・パークは、道路予定地に誰もが自由に座れる椅子（青い箱）を置くことで、生活者・来街者にとって居心地の良い空間をしつらえ、にぎわいをつくり、遊べる場を生み出す、そんな活動をしています。

つながりを生み出します。

疲れたらちょっと座りたい。体操で健康になりたい。みどりに気持ちを癒やされたい。困っている人に親切にしたい。そんな未来について話し合っています。駅前で会いたい人の名前を尋ねて、3人以内でみつかるのをよいまちというらしい。

まちを調べて提案します。

連立事業によってまちの中では人や車の流れ、その他さまざまなことが変化を見せ、それらは計画したものとは異なっていることもあります。そうしたことを踏まえて、必要な施設や機能の提案や、その元となるデータなどを調べていきます。

街の文化を盛り上げます。

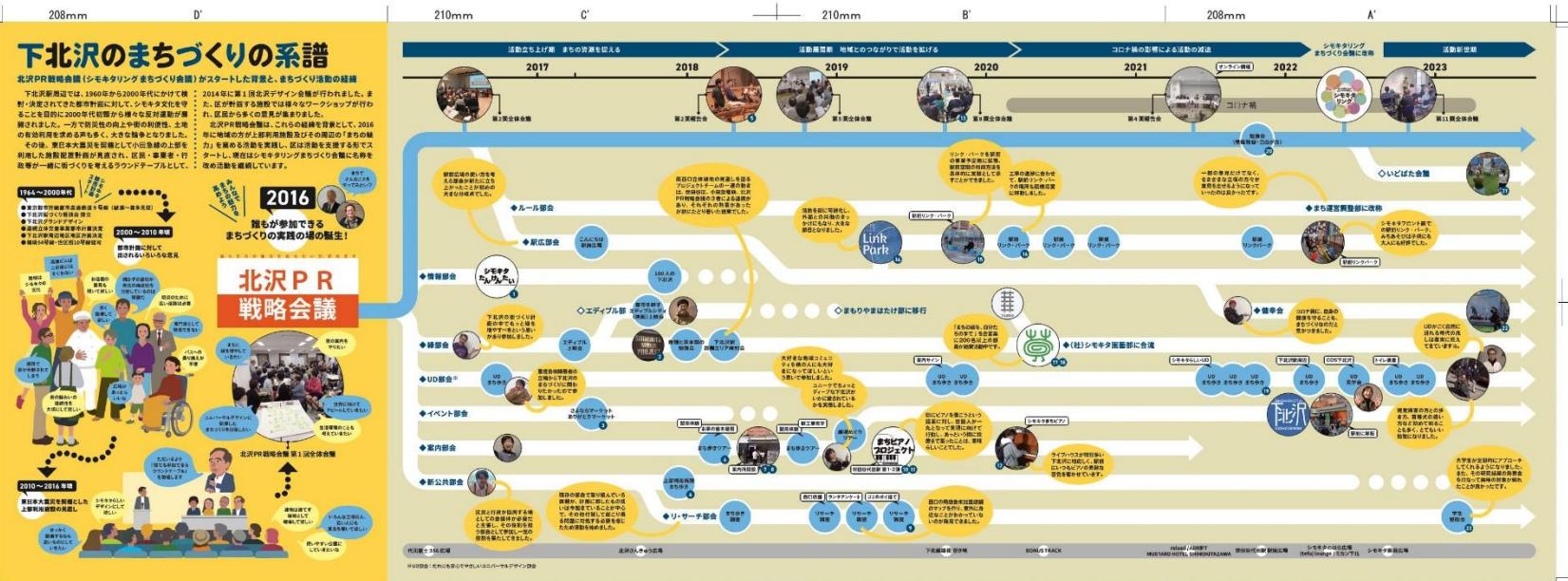
下北沢の面白いことには、結構な割合で私たち関わっているんです。駅前の謎の白いコンテナ、案内所なのに音楽ライブをやってるし、素敵な音色ですっかり定着したストリートピアノ、自由に座れる青い箱のリンク・パークも私たちのアイデア。一緒に街を搖さぶりましょう。



シモキタ好きな人が、まちの案内所やってます

東口駅前にある白いコンテナボックスは「まちの案内所」です。案内所ではシモキタに訪れるみなさんにお手伝いをしています。まち案内をしてくれている人の中には歌が上手な人もいて、まち案内の後に案内所で歌を唄っていることがあります。

北沢PR戦略会議 → シモキタリングまちづくり会議



シモキタ園藝部設立までの経緯

グリーンライン下北沢（2011年 結成）

小田急線上部に誕生する新たな公共空間について、環境に配慮した空間として考えていくNPO法人
(勉強会・ワークショップ・シンポジウム等の開催)

シモキタ緑部会（2016年 発足）

北沢PR戦略会議（シモキタリングまちづくり会議）に結成された部会のひとつ

シモキタ園藝部（2020年 設立）

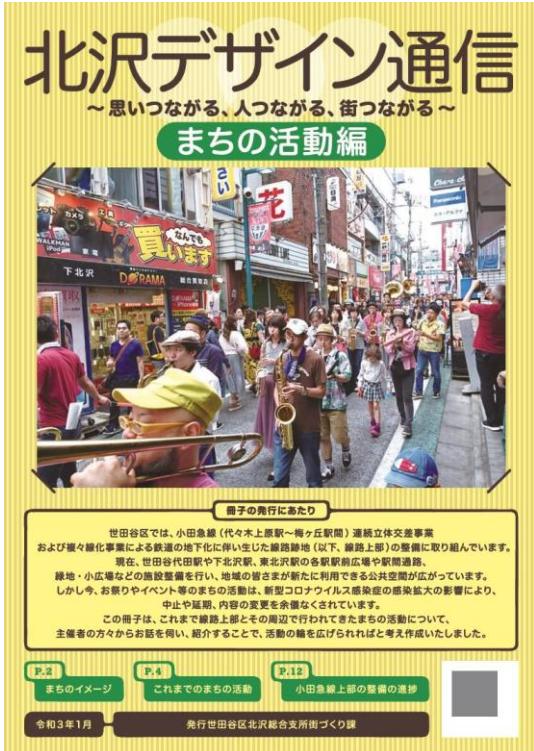
世田谷区の北沢・代沢・代田地域を主なフィールドに、まちの植物を守り育てていくことを目的として設立された小田急線上部の植栽管理を行う一般社団法人
(公益信託世田谷まちづくりファンドの活用)
(第43回 緑の都市賞 内閣総理大臣賞)

小田急線上部のみどり

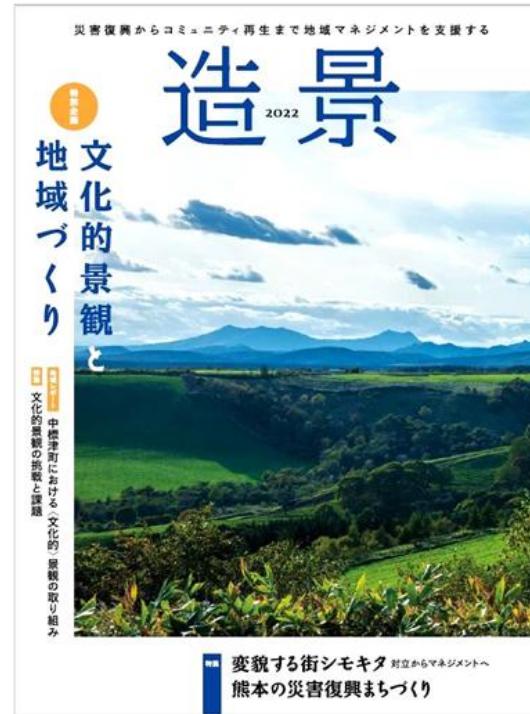


関連図書

北沢デザイン通信 特集号 (世田谷区発行)



雑誌 特集号



建築ジャーナル
No.1353
2024年 4月号

造景2022 出版記念シンポジウム 【YouTube公開】



人をつなぐ街を創る

I部 街づくり先進都市・世田谷

- 第1章 世田谷区という街づくりの舞台
- 第2章 世田谷区における街づくりの発端
- 第3章 世田谷区街づくり条例の歩み
- 第4章 街づくりが抱える課題の解決

II部 事例から見る街づくりへの新たな試み

- 第5章 密集市街地の防災街づくり—太子堂2・3丁目地区
- 第6章 小田急線上部利用の街づくり—下北沢駅周辺地区
- 第7章 京王線沿線の街づくり—明大前駅周辺地区・下高井戸駅周辺地区
- 第8章 都市計画道路沿道の街づくり
—補助216号線・補助52号線・放射23号線

III部 合意形成のために

- 第9章 住民参加の街づくりの歩みと未来
- 第10章 街づくりの推進に期待すること
- 第11章 信頼関係の構築と合意形成
- 第12章 誰も置き去りにしない街づくりの心得

信頼関係の構築と合意形成

1 反対者を認めるためのプロセス

反対者の意見を聞くことは無駄ではない

北沢 P R 戦略会議・明大前街づくり学校

2 新たな関係が創り出すソーシャルキャピタル

人と人との関係を紡ぐ仕組みの数々

エリアマネジメント・プレイスメイキング

3 情報開示がもたらす関係の変化

徹底した情報開示でしか行政は信頼を得られない

街づくりアドバイザー・ワークショップアイテム

4 行政参加の必要性

将来像を描くために残された課題

行政計画の限界・地域力の醸成

誰も置き去りにしない街づくりの心得

- 1 正義はひとつではない
 退けられる反対意見に耳を傾ける努力をする
- 2 情報量を合わせる努力をする
 すべての人が同じ情報を得た瞬間に物事を決める
- 3 パートナーとしての関係性を創る
 相手を思いやる水平関係が信頼関係を創る
- 4 価値観を尊重したプロセスを組む
 個人や組織が持つアイデンティティを尊重する
- 5 今の仕組みを疑う心を持つ
 目の前の壁を越えるためにアイデアを出し合う

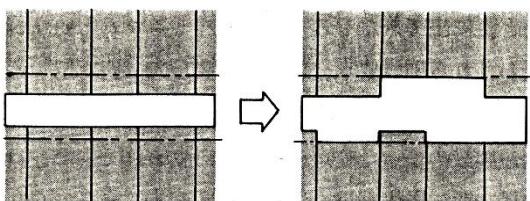
キーワード：情報開示・行政参加

太子堂2・3丁目地区（修復型街づくり）

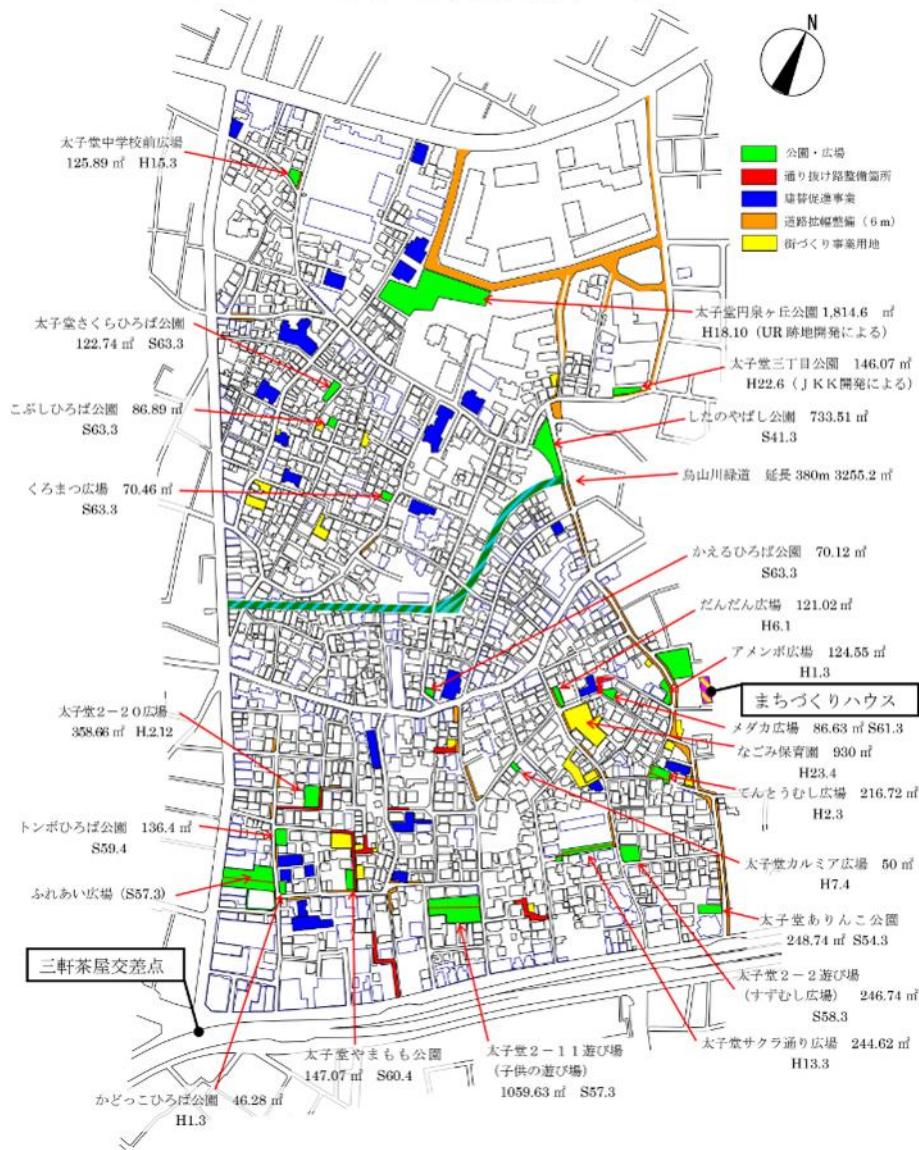
2024.4.1 現在



道路整備の考え方



まちづくり事業実績マップ



太子堂2・3丁目地区（三太通り沿道会議）



三太通り道路整備についての共同宣言

世田谷区および三宿1丁目地区と太子堂2丁目地区の境の道路（通称 三太通り）の沿道住民は、三太通り周辺地域の防災性能の向上と安全確保のため、以下の事項を守ることを宣言します。

- (1) 三太通りに接する関係権利者（以下沿道住民と言う。ただしアパート・マンション居住者を除く）は、三太通りを最低幅員4mの道路とするため、建て替えの時に道路中心線から2m後退の基準を遵守します。
- (2) 沿道住民は、世田谷区と関係権利者との協議と合意にもとづいて、三太通りを部分的、段階的に拡幅整備を進めること、特にクランク状部分の拡幅整備に重点を置いて取り組むことに同意します。
- (3) 沿道住民は、世田谷区と協働して障害物除去や緑化など居住環境の向上や防災性能、および安全性を高める創造的な対策の確立と実現に努力していきます。
- (4) 世田谷区は、三太通りの道路整備にあたっては、自動車交通安全対策の確保のために、道路構造についても沿道住民および周辺住民と協議し、計画に対する意見、要望、提案を十分反映していきます。
- (5) 世田谷区は、道路整備を進めるにあたって沿道住民の財産権および平成9年2月の沿道会議提案を尊重し、拡幅整備に協力する住民の土地売却、建物・工作物の除却、代替地の斡旋などについては特段の配慮をします。
- (6) 世田谷区と沿道住民は、将来的に三太通りの6m道路空間を確保するため継続的に協議していきます。

~~上記事項の宣言は、世田谷区および沿道住民過半数の署名をもって有効となります。~~

以上

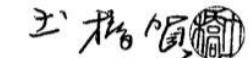
上記共同宣言に同意いたします。

平成10年8月26日

世田谷区長 大場啓二
代理 世田谷総合支所長



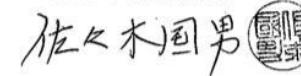
太子堂2・3丁目地区
まちづくり協議会会長



三太通り沿道会議
代表

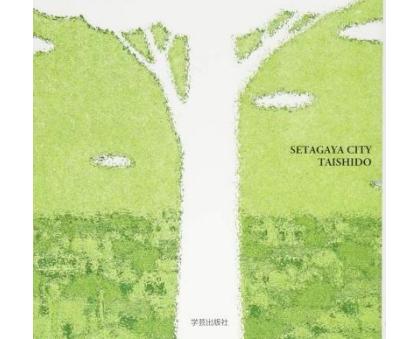


三宿1丁目地区
まちづくり協議会会長



太子堂・住民参加のまちづくり
暮らしがあるから
まちなのだ！

梅津政之輔



明大前駅周辺地区（明大前街づくり学校）



京王線の開かずの踏切解消に向けた連続立体交差化や、これを契機とした駅前広場と道路の整備により、街は大きく変わろうとしています。

より魅力的な街の将来像を考える場として、昨年度「街づくり学校」を開校しました。今年度も引き続き「交通計画」「商業計画」「地区街づくり」の3つのゼミを開講し、それぞれの分野を専門とする大学の先生と一緒に街づくりを考えます。

はさか のぶと
学校長 保坂展人 世田谷区長

寺内 義典 先生
國立館大学理工学部教授
専門：交通工学

交通計画ゼミ

昨年のゼミでの提案を掘り下げながら、通学路や生活道路のあり方、道路のかたちについて、より具体的に検討を進めます。子どもが安全に歩ける道、住宅地の通過交通対策などを考えていきます。

岡田 浩一 先生
明治大学経営学部教授
専門：中小企業論

商業計画ゼミ

駅前広場周辺の環境が変わろうとしていることを地域活性のチャンスとしてとらえ、地域コミュニティの重要な構成主体である商業の活性化を軸に、ソフト面から地域活性化を考えていく

齋庭 伸 先生
首都大学東京都市環境学部准教授 専門：都市計画

地区街づくりゼミ

地区全体のまちづくりについて、これまでの議論もふまえた上で、まちに必要なもののアイデアを出しながら具体的な検討を進めます。防災、緑、景観、活性化、住環境整備等の視点で取り組みます。

《開校日時》

日程 ゼミ	6月		7月		9月		10月		1月	
	21日 (土)	28日 (土)	5日 (土)	20日 (土)	27日 (土)	18日 (土)	25日 (土)	24日 (土)	修了式 報告会	
交通計画	合同オリエンテーション 午前		午前		午後		午前	午後	午前	
商業計画										
地区街づくり										
会場	A	B	B	B	B	B	B	B	A	

*12月に「防災」をテーマにした「特別ゼミ」を予定しています。詳細はニュース等でお知らせします。

《会場》

A: 明治大学和泉キャンパス
和泉図書館1階ホール
B: 明治大学和泉キャンパス
リエゾン棟1階 L1教室

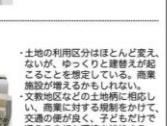
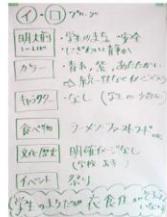
《時間》

午前：9:30～12:00（予定）
午後：1:30～4:00（予定）

※会場の場所、申し込み方法は裏面をご覧ください

●第2回商業計画ゼミ

- ・明大前駅周辺にて、明大前のイメージについてのアンケート調査を街頭調査グループと商店街調査グループに分かれて実施した。
- ・調査結果をグループごとに発表し、成果を共有した。
- ・アンケートの意見は多岐に渡り、明大前には明確なイメージがないという結果が出た。



- ・第2回は、明大前駅南側地区について、街の模型を使って自由に意見交換を行い、具体的な空き地を検討した。
- ・第3回は、前回検討した空き地さらに再検討した案について、それをグループごとに相互通じ、意見交換を行い、お互いの意見について理解を深めた。
- ・明大前駅南側地区について1つの案を提案するのではなく、様々な考え方があるということを共有し、今後の街づくりの参考とすることを目的とした。



第2・3回：明大前駅南側地区の具体的な空間像を考える

案を多様化するために「高密度化」「中空化」「現在の空積のまま」の3テーマ5グループで検討した。

（テーマA：高密度化）

商業と商業施設の活性化、人口の増加を重視し、大規模商業施設や集合住宅などがある可能性を追求する案。建物は15階建てを上限とした。

（グループ1）



- ・駅前広場周辺を再開発し大きな建物を複数、下層階に商業施設として複数の宅地を開けることによって、駅周辺の人口が増やし、賑わいのある街となる。
- ・建物の上に公園兼イベント広場を設け、防災、環境の機能向上を図る。
- ・銀行や公共施設を設ける。
- ・既存の商店街地域の人たちとのつながりを継続的に確保するよう工夫する。

（テーマB：中空化）

住み続ける、高い接続性を重視し、駅前広場と補助第154号線の整備に伴う街の変化を地区内で受け止める案。建物は7階建てを上限とした。

（グループ2）



- ・明大前駅で行われる会議等の出張者の受け止める施設を設け、学術・文化の場の人材を集めるようにする。
- ・人が集まって話せる図書館を設ける。
- ・保存団体や図書館、レンタル用できる施設を設ける。
- ・ある程度施設やかな街にするために、若者たちがモチーフとなるアーティストを街に点在させ、他の施設とあわせて、個性を持たせせる。



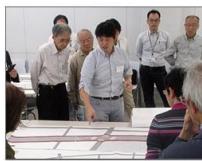
- ・土地の利用区分はほとんど変えないが、ゆっくりと歩ける空間をつくることを目指している。商業施設が進むかもしれない。
- ・文教施設などは土地に相応しい、商業に対する規制をかけて、商業施設の開拓を防ぐ。
- ・駅前広場周辺は住む家とまとめる。駅前ビルは一気には進まない。駅前広場周辺は、駅前ビルの開拓を防ぐ。
- ・既存の商店街地域の人たちとのつながりを継続的に確保する。
- ・セッターワークや電線地中化で歩道を広げて歩きやすくなる。



- ・駅前広場周辺の建物の空間構造を変える。1・2階に商業施設を設ける。また、回遊性を持たせるための縦横の歩道を設ける。
- ・井の頭公園周辺に建物が少ないペントハウスを設ける。
- ・補助第154号線と松原大山通りには商業施設を配置する。松原大山通りはセッターワークや電線地中化、速度制限などで歩きやすい道にする。
- ・地下でゆとりのある住宅街を確保する。

明大前街づくり学校（交通計画ゼミ）

- 第2回は、都市計画道路補助第154号線の整備に伴い、松原小学校付近の歩行者の安全を考え、7つの案を比較し、各案のメリット・デメリットを議論した。
- 第3回は、補助第154号線の各案の議論をさらに深め、また、地区街づくり計画の策定に向け、昨年のゼミの成果を踏まえて地区全体の交通課題について議論した。
- 道路のあり方は局所的ではなく地区全体の対策が必要なこと、今後も課題を検討する場が必要なことを確認した。

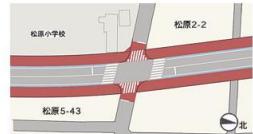


第2・3回：補助第154号線のあり方を考える ← グループに分かれて議論した。

補助第154号線は、現在の区の計画を基本として、しつらえなどにより安全確保を考えていくことを共にした。以下が各案の説明と議論内容である。

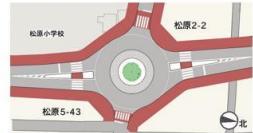
《現計画一部変更案（平面案）》

現在の計画の幅員構成を変更する案



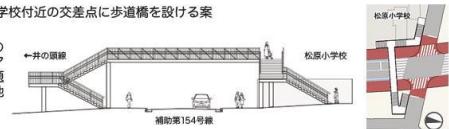
《ラウンドアバウト案（平面案）》

松原小学校付近の交差点を信号機のない環状交叉点にする案



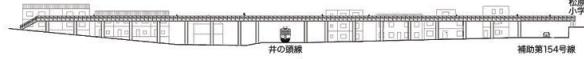
《歩道橋案》松原小学校付近の交差点に歩道橋を設ける案

今時、利用しないのではないか。バリアフリーと防犯の課題がある。新たな用地確保が必要になる。



《ペストリアンティック案》

歩道橋案の歩道橋を井の頭線の東まで延ばす案



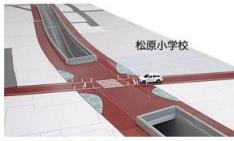
《ブリッジ案（半地下案）》

松原小学校付近の車道を半地下にして、歩道橋の高さを抑える案



《車道一部地下案》

松原小学校付近のみ車道を地下化する案



《車道広域地下案》

車道を広域で地下化する案



第3回：地区全体の交通計画を考える ← 参加者全員で議論した。



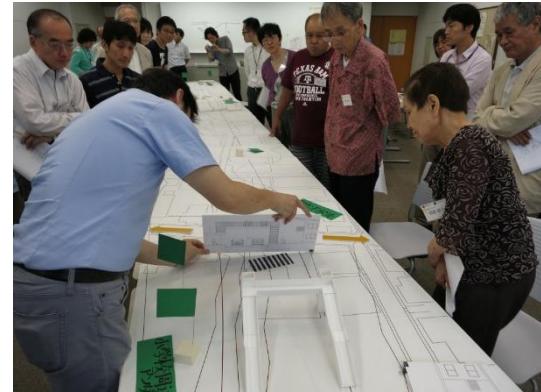
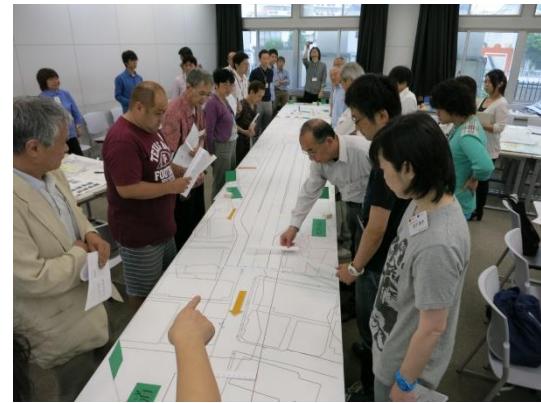
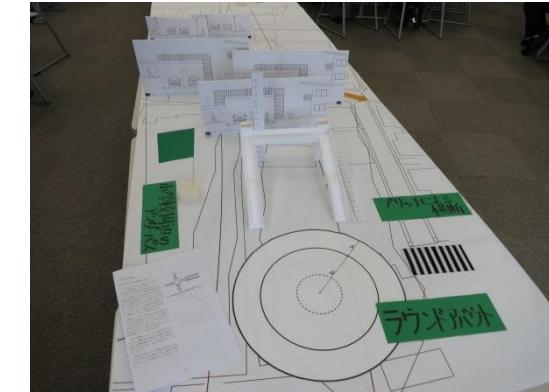
【補助第154号線の西側】
松原大山通りや吉原天神通りなど総合的な道路の交通計画が大切である。日本学園付近のスルーゾーンの徹底や赤堤通り付近からのゾーン規制が考えられる。

【補助第154号線の東側】
補助第154号線や放射第23号線が整備された際の抜け道対策として、地区内にゾーン規制をかけることが考えられる。

【自転車との共存】
自転車を補助第154号線に誘導するか、街の中で歩行者とうまく共存させるのかを考える必要がある。

【今後に大事な視点は】
子どもの交通安全を確保するため、放課後などによく使う道も含めて検討する。
交通問題も含め、継続して街づくりを検討する街づくり協議会などの場が必要になる。

5



下高井戸駅周辺地区（街づくり協議会主催WS）



みんなでつくる明日のしもたかブック

目次

しもたかブックの役割	1
しもたかブックの位置づけ	1
まちの歴史と魅力	2
まちづくりの基本理念・目標	4
まちづくりの目標①	6
まちづくりの目標②	8
まちづくりの目標③	10
将来のまちへの想い	12
これまでの・これからまちづくりの取組み	14
資料編	16



対象範囲：下高井戸駅周辺

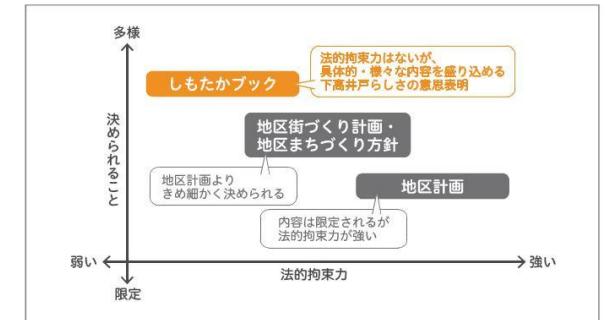


下高井戸のまちづくり
やさばり面白い。



しもたかブックの役割

しもたかブックは、下高井戸のまちの魅力や課題、具体的なまちづくりの将来像や方向性などをまとめたものです。「下高井戸駅周辺地区街づくり協議会」が中心となり、地域の方々の様々な意見を参考にしながら作成しました。しもたかブックの内容は、作成に携わった方々だけでなく、生活している人、商売を営んでいる人、学生など、まちに関わる皆さんと共に共有し、同じ方向性でまちづくりに取組むことで、まちの魅力をさらに高めていくことができると思っております。具体的なまちづくりの手法やしもたかブックの内容は社会情勢やまちづくりの進捗等に応じて考え、見直しを加えています。



しもたかブックの位置づけ

法的拘束力はありませんが、具体的なまちづくりの将来像を描きます。

下高井戸駅周辺地区（しもたかブック）

将来のまちへの想い

下高井戸のまちで「こんなことができたらいいな」という姿を思い浮かべながら、しもたかブックをつくりました。まちの方々の考えは様々であり、実現可能性の程度も様々ですが、そこに共通しているのは、これまでの下高井戸の良さを引き継いで伸ばしていきたいという想いです。そのためにはまちづくりの目標を立てました。

これからも皆さんと一緒に考え、皆さんのが思い描くまちの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。しもたかブックを手元に、あなたの想いも一緒に描いてみませんか？

駅周辺に欲しい施設

街づくり懇談会やまちづくりワークショップ、オープンハウスでまちの皆さんからいただいた主な意見です。

- ・多世代交流スペース
- ・キッズスペース、保育園
- ・街の掲示板（歴史・文化を含む）
- ・ドッグカフェ
- ・新しい仕事を生み出す場所（コワーキングスペース）
- ・公衆トイレ
- ・オープンカフェ
- ・図書館
- ・情報発信（学生向け、歴史・文化）
- ・アンテナショップ
- ・下高井戸らしいホール（多目的ホール）など

街づくり協議会の想い



【遊べる場所・集える場所】

- ・11ページの「駅前広場（歩行者系）の考え方」C案の考え方を基に、京王線の南北にオープンスペースを設けて、高架下を含めて一体的に利用できるようにします。
- ・駅の南北で共同化や再開発を行い、建物周辺のオープンスペースを駅前広場（歩行者系）や高架下と連続させます。
- ・駅周辺に遊べる場所や集える場所を増やします。歩行者動線を多様化して回遊性を高めます。

【交通】

- ・自動車の往来を駅前広場のある箇所に限定することで、駅周辺への自動車の乗り入れを減らします。
- ・駅近くまでバスやタクシーを乗り入れることにより、乗り継ぎの利便性を高めます。

【防災】

- ・建物の共同化等により不燃化を促進し、また、オープンスペースを増やすことで災害時の避難や防災活動に役立てます。

思い描く将来のまちの姿

まちづくりの目標①から③の実現に向けてまちづくりを進めていくと、まちは少しずつ成長し、以下ののような光景がまちのあちこちに増えていくのではないでしようか。



屋外リビングで楽しめます

「今日は外が気持ちよさそう！」駅前広場にはくつろげるベンチやオープンカフェがあります。日を浴びて過ごしたいとき、気分を変えたいときなど、思い思いに過ごすことができます。



京王線が高架化され、世田谷線が移設された場合の駅前広場（歩行者系）のイメージ

駅近くで思いっきり遊べます

「いつもの場所で会おう！」駅前広場は地元の人たちの集いの場、遊び場。少し離れた公園に行くのもいいけど、家の近くで遊べるのは家族にとっても安心できます。

思いがけないことに会えます

「今日はどんなイベントがあるかな？」駅前広場では商店街の人たちが中心となって各種イベントが開催されているので、外出する楽しみが増えます。

地域の人とつながりが増えます

「○○さん！ ここにちは～」道端での出会い、各種イベントでの出会い、コミュニティカフェでの出会いなど、地域の人たちと話す機会が増え、人のつながりが増えます。

家族で買い物を楽しめます

「ね～早く行こうよ～」家族で団らんできる場所や買い物の前後に遊べる場所が増えるので、家族揃って出かけることが楽しくなります。

子どもの社会性を育みます

「宿題は終わった？」商店街を含め、地域の人たちと子どもが接する機会がより一層増え、世代を超えたコミュニケーションが自然と取れるようになります。

新しい個店に会えます

「新しい店ができたみたい！」チャレンジスペースには個性豊かな店がお店してきます。まちにひいきの店が増えています。

食生活が豊かになります

「今日の献立は何にしよう？」そんな時は店主との会話の中から料理のヒントをもらいます。レバートリーが増え、食卓が賑やかになります。

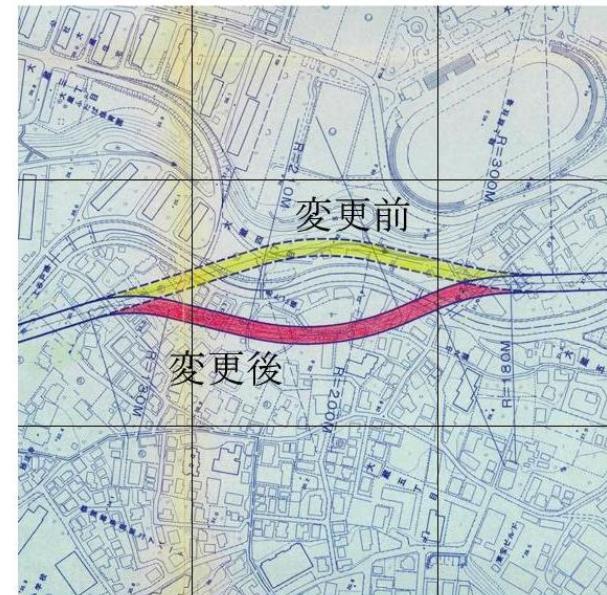


都市計画道路補助216号線沿道地区（道路計画）

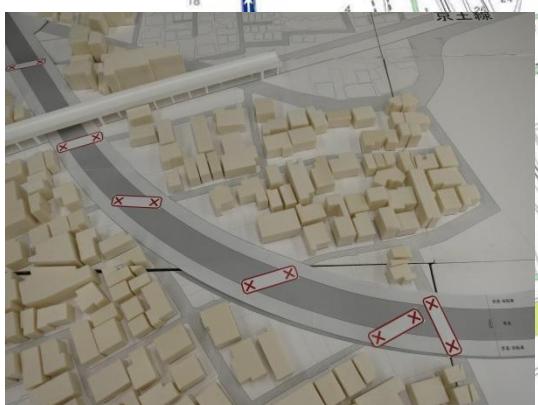
■各地区の概要



■地区施設の整備



放射23号線沿道地区（様々なアイテムの活用）



都市計画にみる住民参加の歩み

行政 国・地方公共団体（都道府県・市町村）

中央集権国家「由らしむべし、知らしむべからず」

参加 説明会・公聴会・意見書提出

参画 ワークショップ・街づくり協議会

協働 エリアマネジメント・プレイスメイキング

1968（昭和43）年 都市計画法公布

1980（昭和55）年 地区計画制度創設

2000（平成12）年 「地区計画等の案の申出」創設

2002（平成14）年 「都市計画の決定等の提案」創設

1994（平成6）年 行政手続法施行・行政指導規制

1998（平成10）年 特定非営利活動促進法（NPO法）公布

2000（平成12）年 地方分権一括法施行

道路整備について思うこと

◆道路を整備してもしなくとも双方にデメリットがある。安全性の向上のために道路整備を推進すると、地域分断や商店街消滅といった副作用が発生する。

◆行政の思い

地権者に平等に対応して道路整備を推進したい。
苦情が少なく管理のしやすい道路を整備したい。

◆住民の思い

住み慣れた地域に住み続けたい。
この地域で今まで通りに商売を続けたい。

◆行政の思いと住民の思いの双方が満たされる道路整備とはどうすれば良いのだろうか？

シビックプライド（誰も置き去りにしない結果）

2025

都市社会研究

Journal of Urban Social Studies NO.17

特 集
「シビックプライドとまちづくり」

シビックプライドの解釈 伊藤 香織
ウォーカブルな公共空間活用による新しい縁繋ぎの取り組み 中島 伸
地域の企業とまちづくり 許 伸江
ソーシャル・イノベーションとしての都市緑地のコモンズ化 三浦 倫平
みどりの風景が繋ぐ地域とのかかわり 高木加津子
地域への想いを育てる場と仕組み 小柴 直樹

論 文
広域連携のこれから 阿部 泰則
コミュニティガーデンにおいて組織に縛られず参加者の自由な活動が確保される条件 菊池 隆聖
レジ袋有料化の過程と自治体 堂免 隆浩
ミニパブリックス熟議の社会的受容性 鈴木 洋昌
辰巳 智行
中澤 高師

活動報告
世田谷ボランティアビンゴツアーズで巡る地域活動 鈴木 景子
世田谷パン祭り実行委員会の活動報告 金子 愛実
川越 心晴
高橋 怜那
木原 菜桜
桑野 愛子

せたがや自治政策研究所

街づくりの目的

- 1 快適な都市環境の整備
- 2 コミュニティの体力向上
- 3 地域共生社会の実現

行政の心得

- 1 値値観の共有
- 2 支援の姿勢

住民の心得

- 1 行政計画の理解
- 2 街づくりへの協力



ご清聴ありがとうございました